

筑北村個別施設計画

令和2年3月

筑北村

1章 はじめに.....	1
1．計画の目的.....	1
2．計画期間.....	1
3．対象施設.....	2
2章 対象施設の現状.....	3
1．施設類型別施設棟数.....	3
2．構造別延床面積.....	4
3．建設年別延床面積.....	4
4．劣化状況.....	5
(1) 調査の目的.....	5
(2) 調査の方法.....	5
(3) 評価方法.....	8
(4) 調査結果の分類.....	12
(5) 劣化状況調査結果.....	13
3章 一次施設評価.....	15
1．施設評価の考え方.....	15
(1) 施設評価の流れ.....	15
(2) 施設項目・指標.....	15
(3) 評価分類.....	19
2．一次評価結果.....	20
4章 施設類型毎の整備・管理の方針.....	28
1．施設分類毎の再評価と整備・管理の方針.....	28
(1) 村民文化系施設.....	28
(2) 社会教育系施設.....	31
(3) スポーツ・レクリエーション系施設.....	33
(4) 産業系施設.....	39
(5) 学校教育系施設.....	41
(6) 子育て支援施設.....	43
(7) 保健・福祉施設.....	46
(8) 医療施設.....	48
(9) 行政施設.....	49
(10) 公園.....	52
(11) その他施設.....	53
2．評価結果の総括.....	54
3．整備・管理の方針に基づく更新コスト試算.....	59
(1) コスト試算の基本的な考え方.....	59
(2) コスト試算結果.....	60

1章 はじめに

1. 計画の目的

近年、人口の減少に伴い、公共施設の余剰化や遊休化が進展するなかで、全国的に公共施設の統廃合や複合施設化が進んでいる。特に合併した市町村では、合併前に整備された公共施設の種類や機能の重複も数多くみられ、老朽化による修繕のための財政の負担も増大しており、本村においても人口規模に見合った公共施設のあり方を検討し、将来にわたって発生する維持経費等の負担を平準化するため、平成 28 年 3 月に公共施設等総合管理計画を策定した。

筑北村公共施設等総合管理計画においては、施設の劣化診断等を定期的に実施し、経年による劣化状況や、施設利用・天候等による外的負荷による性能の低下状況や管理状況を把握するとともに、それらの結果と利用状況等により施設の評価を行い、保全の優先度を判断するとしている。

本計画は、総合管理計画の下位計画として、個別に長寿命化計画を持たない施設を対象として、活用手法を整理し、今後の整備・管理の方針を定め、公共施設マネジメントを推進することを目的としている。

2. 計画期間

計画期間は令和 2 年度（2020 年度）～令和 11 年度（2029 年度）の 10 年間とする。

また、社会情勢等の変化等を踏まえ、必要に応じて 5 年程度での中間見直しをすることとする。

3. 対象施設

本計画の対象施設は、村の所有する建築系公共施設のうち、個別の長寿命化計画を持たない施設とし、教員住宅を含む公営住宅、学校施設、上下水道関連施設は対象としない。

また、集会施設のうち地区管理集会施設、消防詰所等については、個々に地区住民との協議を踏まえ、今後の活用方針を検討することとし、本計画の対象とはしない。

表 対象施設

大分類	中分類	主な施設	施設数	対象施設
①村民文化系施設	集会施設	公民館	3	本城公民館、坂北公民館（坂北総合福祉センター）、筑北村公民館
		交流施設	2	本城農村環境改善センター、ヤングカルチャーセンター
	文化施設	作陶場	1	作陶場
②社会教育系施設	図書館	図書館	1	図書館
	博物館	資料館	4	収蔵庫、伝統文化等保存伝承施設、考古資料館、歴史民俗資料館
③入ホーツ・レクリエーション系施設	入ホーツ施設	体育館等	11	健康館、本城体育館、坂北体育館、坂井体育館、本城グラウンド、坂北野球場、坂井グラウンド、氷室マレットゴルフ場、本城屋内ゲートボール場、坂北荘屋内ゲートボール場、坂井冠着荘屋内ゲートボール場
	レクリエーション・観光施設	キャンプ場	3	やすらぎスポーツ広場、坂井森林体験交流センター、とくら沢ふれあい広場
	保養施設	宿泊施設	4	西条温泉とくら、差切峡温泉坂北荘、草湯温泉冠着荘、グリーンスポーツハウス碧館
④産業系施設	産業系施設	農業関連施設	12	本城ふるさと館、坂北やさいBOX、もえぎ亭、まんだらの庄、そば凧さかい、坂井特用林産物加工販売施設、大沢加工施設、本城農産物加工流通施設、坂北農産物加工施設、坂井ゆうきセンター、坂井農畜産物処理加工所、坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設
⑤学校教育系施設	学校	小学校	2	旧本城小学校、旧筑北小学校
⑥子育て支援施設	幼保・こども園	保育園	2	筑北ひまわり保育園、坂井保育園
	児童・児童施設	児童館、子育て支援センター	5	子育て支援センター、本城柔剣道場、坂北放課後児童保育施設、坂井児童館、筑北村特別支援放課後児童施設
⑦保健・福祉施設	高齢福祉施設	老人福祉施設	5	社会福祉会館きさきげ荘、坂北デイサービスセンター・地域情報センター、坂北老人共同住宅、坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター、坂井老人レクリエーション施設
	障害福祉施設	障害者自立支援センター	2	障害者自立支援センターちくほっくる、社会就労センター
⑧医療施設	医療施設	診療所	1	国民健康保険診療所
⑨行政系施設	庁舎	村役場・支所等	10	坂北支所、本庁舎、坂井支所、旧本城村役場庁舎倉庫、高速情報通信施設（坂北、坂井、本城）、村営バス車庫、車庫（老レク横）、旧小仁熊ダム事務所
⑩公園	公園	管理施設、トイレ等	4	乱橋朝日公園、坂井ふれあい交流公園、古司農村公園、しりづみ公園
⑪その他公衆トイレ	その他	公衆トイレ	7	田屋公民館前公衆トイレ、差切公園公衆トイレ、青柳城址公園公衆トイレ、坂北駅前公衆トイレ、坂井支所前公衆トイレ、西条駅前公衆トイレ、冠着駅前公衆トイレ
合計			79	

2章 対象施設の現状

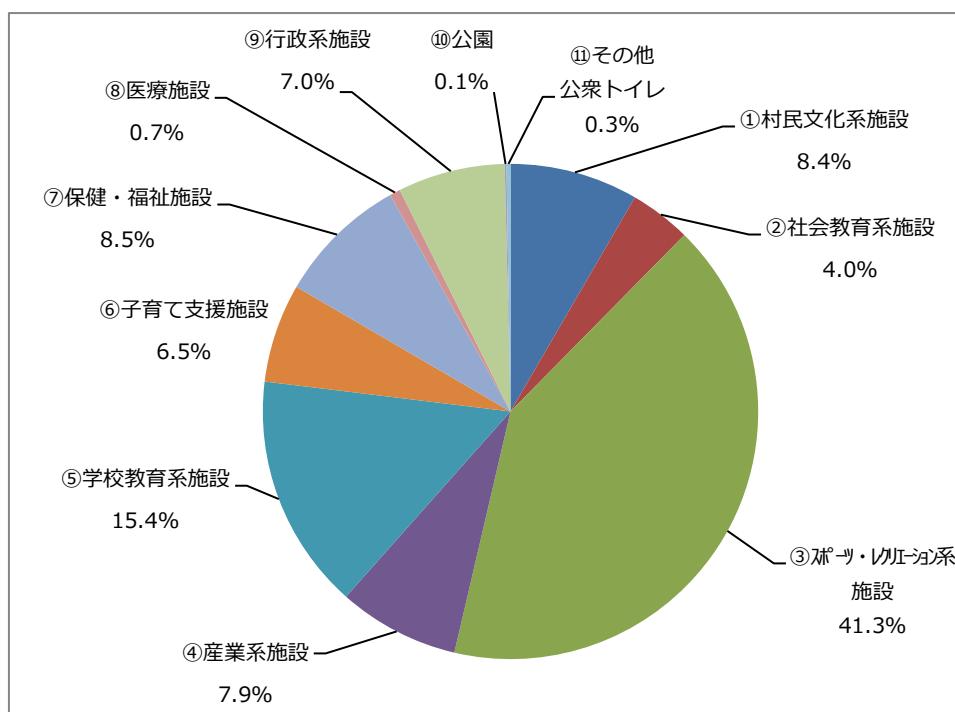
1. 施設類型別施設棟数

対象施設 79 施設について、施設類型毎に棟数、床面積を整理すると下表のとおりとなる。延床面積の構成比をみると、多い順に「スポーツ・レクリエーション系施設」41.3%、「学校教育系施設」15.4%となり、2つの施設類型で半分以上を占めている。

表 施設類型別棟数、延べ床面積

大分類	施設数	棟数	延床面積	構成比
①村民文化系施設	6	6	4,251.31	8.4%
②社会教育系施設	5	11	2,032.54	4.0%
③スポーツ・レクリエーション系施設	18	40	20,944.58	41.3%
④産業系施設	12	22	4,015.85	7.9%
⑤学校教育系施設	2	10	7,803.98	15.4%
⑥子育て支援施設	7	10	3,278.23	6.5%
⑦保健・福祉施設	7	12	4,333.24	8.5%
⑧医療施設	1	1	350.11	0.7%
⑨行政系施設	10	18	3,556.45	7.0%
⑩公園	4	4	58.81	0.1%
⑪その他 公衆トイレ	7	7	132.09	0.3%
合計	79	141	50,757.19	100.0%

図 施設類型別の延べ床面積



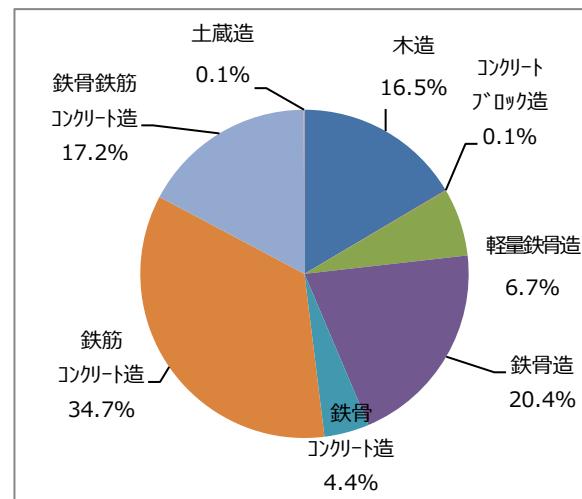
2. 構造別棟数・延床面積

構造別棟数をみると、木造が最も多く 64 棟と最も多く、次いで鉄骨造 26 棟、鉄筋コンクリート造 23 棟となっている。構造別延床面積の割合では、鉄筋コンクリート造が 34.7% を占めており、次いで鉄骨造 20.4% となっている。

表 構造別棟数・延床面積

構造	棟数	延床面積	構成比
木造	64	8357.77	16.5%
コンクリートブロック造	3	32.66	0.1%
軽量鉄骨造	16	3389.52	6.7%
鉄骨造	26	10362.46	20.4%
鉄骨コンクリート造	1	2248.00	4.4%
鉄筋コンクリート造	23	17616.81	34.7%
鉄骨鉄筋コンクリート造	6	8708.16	17.2%
土蔵造	2	41.81	0.1%
	141	50757.19	100.0%

図 構造別延床面積の割合

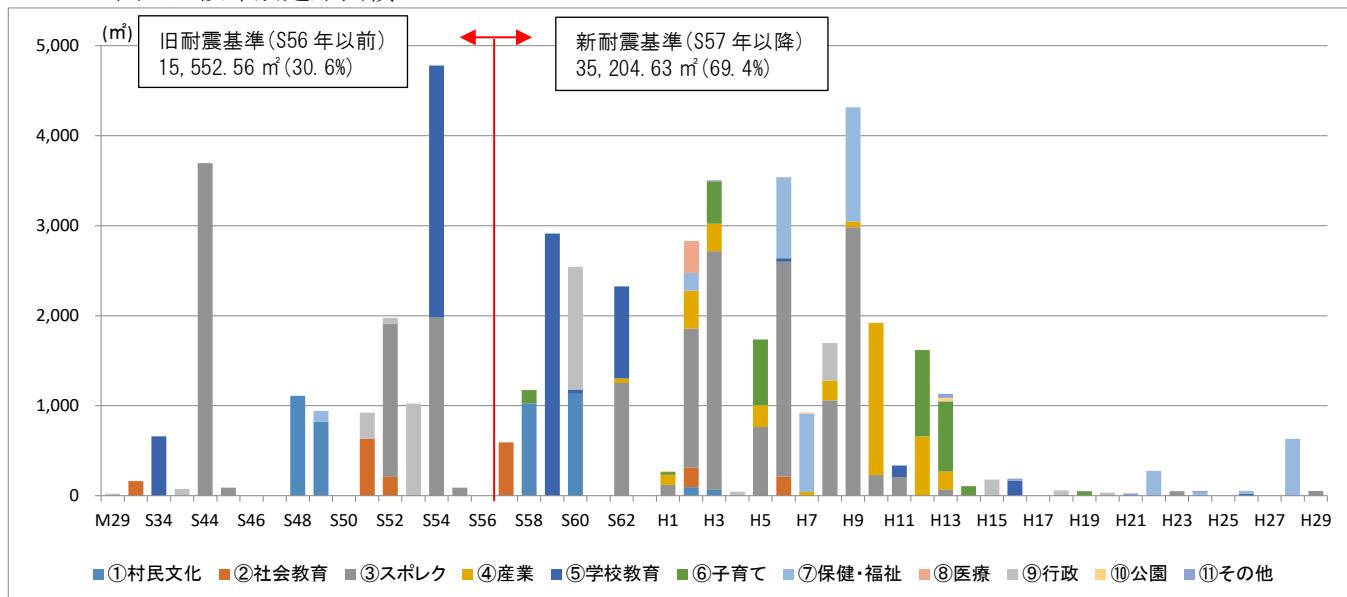


3. 建設年別延床面積

建設年別の延床面積をみると、旧耐震基準（昭和 56 年以前）に建設された施設が 30.6%、新耐震基準（昭和 57 年以降）に建設された施設が 69.4% となっている。

多くは昭和 59 年頃から平成 13 年頃にかけて建設されているが、建設年が比較的古く、延床面積の大きい施設としては昭和 44 年建設の「草湯温泉保養センター冠着荘」が有り、また明治年代に建設された施設も有る。

図 建設年別延床面積



4. 劣化状況

(1) 調査の目的

老朽化の進行など、施設の状態確認が必要と考えられる施設について目視による劣化度調査を実施した。

(2) 調査の方法

1) 目視調査の内容

目視で老朽度を判定できる基準である「建築物修繕措置判定手法（財）建築保全センター」に準拠し、目視調査を実施した。

調査面の選定は劣化が最も多く認められた 1 面で行い、構造的な欠陥の有無の確認、外壁評価、塗装評価、シーリング評価を行った。

2) 調査日時

平成 31 年 2 月 19 日（火）～21 日（木）

3) 調査時間

調査所要時間：1 棟 1 時間程度。

4) 調査対象

調査対象施設は老朽化の進行など施設の状態確認が必要と考えられる 32 棟（うち 1 棟は同一評価）とする。

表 調査対象施設

	施設名	建物名	構造	建築年
1	坂北支所	庁舎	鉄骨造	1976
2	本庁舎	庁舎	鉄骨鉄筋コンクリート造	1985
3	坂井支所	庁舎	鉄筋コンクリート造	1978
4	旧筑北小学校	校舎	鉄筋コンクリート造	1984
5	旧筑北小学校	音楽室棟	鉄筋コンクリート造	2004
6	旧筑北小学校	給食棟	鉄筋コンクリート造	1984
7	旧筑北小学校	体育館	鉄骨造	1987
8	旧筑北小学校	プール更衣室	木造	1997
9	本城公民館	本城公民館	鉄筋コンクリート造	1974
10	坂北公民館（坂北総合福祉センター）	坂北公民館（坂北総合福祉センター）	鉄筋コンクリート造	1973
11	筑北村公民館	筑北村公民館	鉄筋コンクリート造	1983
12	子育て支援センター	子育て支援センター	木造	1993
13	筑北ひまわり保育園	筑北ひまわり保育園	木造	2000
14	坂井保育園	坂井保育園	鉄骨造	2001
15	国民健康保険診療所	国民健康保険診療所	木造	1990
16	西条温泉とくら	西条温泉とくら	鉄筋コンクリート造	1997
17	差切峡温泉坂北荘	坂北荘本館	木造	1977
18	草湯温泉冠着荘	草湯温泉冠着荘	鉄骨鉄筋コンクリート造	1969
19	健康館	健康館	鉄骨造	1993
20	歴史民俗資料館	旧健康管理センター	鉄筋コンクリート造	1982
21	本城体育館	本城体育館	鉄骨鉄筋コンクリート造	1990
22	坂北体育館	坂北体育館	鉄筋コンクリート造	1979
23	坂井体育館	坂井体育館	鉄骨鉄筋コンクリート造	1987
24	本城柔剣道場	本城柔剣道場	鉄骨造	1991
25	社会福祉会館きささげ荘	きささげ荘	鉄骨造	1995
26	坂北デイサービスセンター・地域情報センター	情報センター	鉄骨造	1997
27	坂北デイサービスセンター・地域情報センター	老人福祉施設	鉄骨造	1997
28	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	鉄骨造	1994
29	グリーンスポーツハウス碧館	グリーンスポーツハウス碧館	鉄筋コンクリート造	1979
30	本城農村環境改善センター	本城農村環境改善センター	鉄骨鉄筋コンクリート造	1985
31	本城ふるさと館	本城ふるさと館	鉄骨造	1991
32	坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設	坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設	鉄骨造	2000

5) 現地調査手順



(3) 評価方法

1) 構造的な欠陥の有無の確認

目視により、不同沈下、アルカリ骨材反応、水平打継部や柱梁の曲げせん断亀裂等の構造的な欠陥の有無を確認する。

2) 外壁評価

外壁の仕上げ別の判定シートにより、劣化度を判定する。

【コンクリート打放し外壁】

コンクリート打放し外壁の2次判定シートから、剥落、浮き、ひび割れ及び補修歴により判定する。

調査面の選定は劣化が最も多く認められた面で行う。

○剥落、浮き

I. 鉄筋の腐食に伴った剥落、浮き…見付け面積当たりの発生面積率で評価する。

II. 鉄筋の腐食と無関係な剥落、浮き…見付け面積当たりの発生面積率で評価する。

○ひび割れ

対象とする亀裂は0.2mm以上とし、鉄筋腐食に伴う浮きで拾った箇所は、ひび割れで拾わないなど劣化箇所を重複しないようにする。

III. 鉄筋に沿うひび割れ…ひび割れの長さを合計し長さ1mに換算した時の100m²あたりの本数で示す。

IV. 開口部周辺のひび割れ…開口部10箇所あたりのひび割れ長さを合計し、長さ1mに換算した時の本数で示す。

V. 網状のひび割れ…見付け面積当たりの発生面積率で評価する。

VI. その他のひび割れ…ひび割れの長さを合計し長さ1mに換算した時の100m²あたりの本数で示す。

○補修歴

VII. 補修歴…剥落、浮き、ひび割れに係る補修について、経常修繕の頻度を評価する。（計画修繕は含まない）

【モルタル塗仕上、タイル張仕上げ外壁】

モルタル塗仕上げ外壁の2次判定シートから、剥落、はらみ、ひび割れ、浮き箇所の最大値、表面劣化、補修歴により判定する。調査面は劣化がもっとも多く認められた面で行う。

○剥落、浮き

I. 剥落…調査範囲は壁面全体とし、剥落面積若しくは剥落面積率で評価する。面積評価はその実数、面積率評価は建物立面上を1m²グリッド（1m²角のマス目）に分け、1グリッド内に1箇所でも剥落が存在する場合は、剥落グリッド1とし、1壁面の総グリッド数に対する剥落グリッド数の割合により剥落面積率を決定する。

II. はらみ…調査範囲は壁全体とし、剥落と同様にはらみ面積若しくははらみ面積率で評価する。面積評価はその実数、面積率評価は建物立面上を1m²グリッド（1m²角のマス目）に分け、1グリッド内に1箇所でも剥落が存在する場合は、剥落グリッド1とし、1壁面の総グリッド数に対する剥落グリッド数の割合により剥落面積率を決定する。

III. 浮き…はらみ、浮きの最大値を見付け面積とその割合で評価する。

○ひび割れ

IV. ひび割れ…目視により集中したひび割れが1壁面にどのくらい存在するのかで評価する。

○表面劣化

V. 表面劣化…指触や釘ドライバー等によりモルタル表面のもろさ・風化状態を評価する。

○補修歴

VI. 補修歴…剥落、浮き、ひび割れ、表面劣化に係る補修について、経常修繕の頻度を評価する。（計画修繕は含まない）

【板状の仕上げ外壁】

板状の仕上げ材による仕上げの確認すべき事象から、割れ、欠損、はがれについて記録する。調査面は劣化がもっとも多く認められた面で行う。

○部材の劣化

I. 木造部材（柱、梁等）の劣化状態と劣化の程度を記入して発生面積率で評価する。

○仕上げ材の割れ

II. 目視により割れが 1 壁面にどのくらい存在するのかで評価する。

○仕上げ材の欠損

III. 板状の仕上げ材の一部が欠け損じ、その深さが 20mm 以上であるか又は下地材が露出している状態が認められる場合、欠損面積若しくは欠損面積率で評価する。

○仕上げ材のはらみ、はがれ（金属系の場合の変形）

IV. 板状の仕上げ材がめくれ、又ははがれ落ちて下地材が露出している状態、又は金属系の場合の変形等が認められる場合、発生面積率で評価する。

○仕上げ材（金属である物に限る）の腐食

V. 金属である板状の仕上げ材に錆が認められ、欠損（穴あき）に至るおそれのある状態が認められる場合、発生面積率で評価する。

○補修歴

VI. 補修回数…剥落、浮き、ひび割れ等に係る補修について、経常修繕の頻度を評価する。（計画修繕は含まない）

【ブロック表し外壁】

ブロック表し外壁 2 次判定シートから、コンクリート部材及びブロック壁面の剥落・浮き、ひび割れにより判定する。調査面は劣化が最も多く認められた面で行う。

○剥落、浮き

I. 鉄筋の腐食に伴った剥落、浮き…見付け面積当たりの発生面積率で評価する。

II. 鉄筋の腐食と無関係な剥落、浮き…見付け面積当たりの発生面積率で評価する。

○ひび割れ

III. 鉄筋に沿うひび割れ…ひび割れの長さを合計した長さ 1m に換算した時の 100 m²あたりの本数で示す。

IV. コンクリート部材のひび割れ…臥梁、基礎梁、柱、梁で該当する部位ごとに点数をつけ、その平均を評価する。

V. ブロック壁体のひび割れ…調査壁面のうち該当する面ごとに点数をつけ、その平均で評価する。

○補修歴

VI. 補修回数…剥落、浮き、ひび割れ等に係る補修について、経常修繕の頻度を評価する。（計画修繕は含まない）

3) 塗装評価

塗仕上げ外壁の判定シートから、劣化デグリー、劣化面積率及び分布率により判定する。

4) シーリング評価

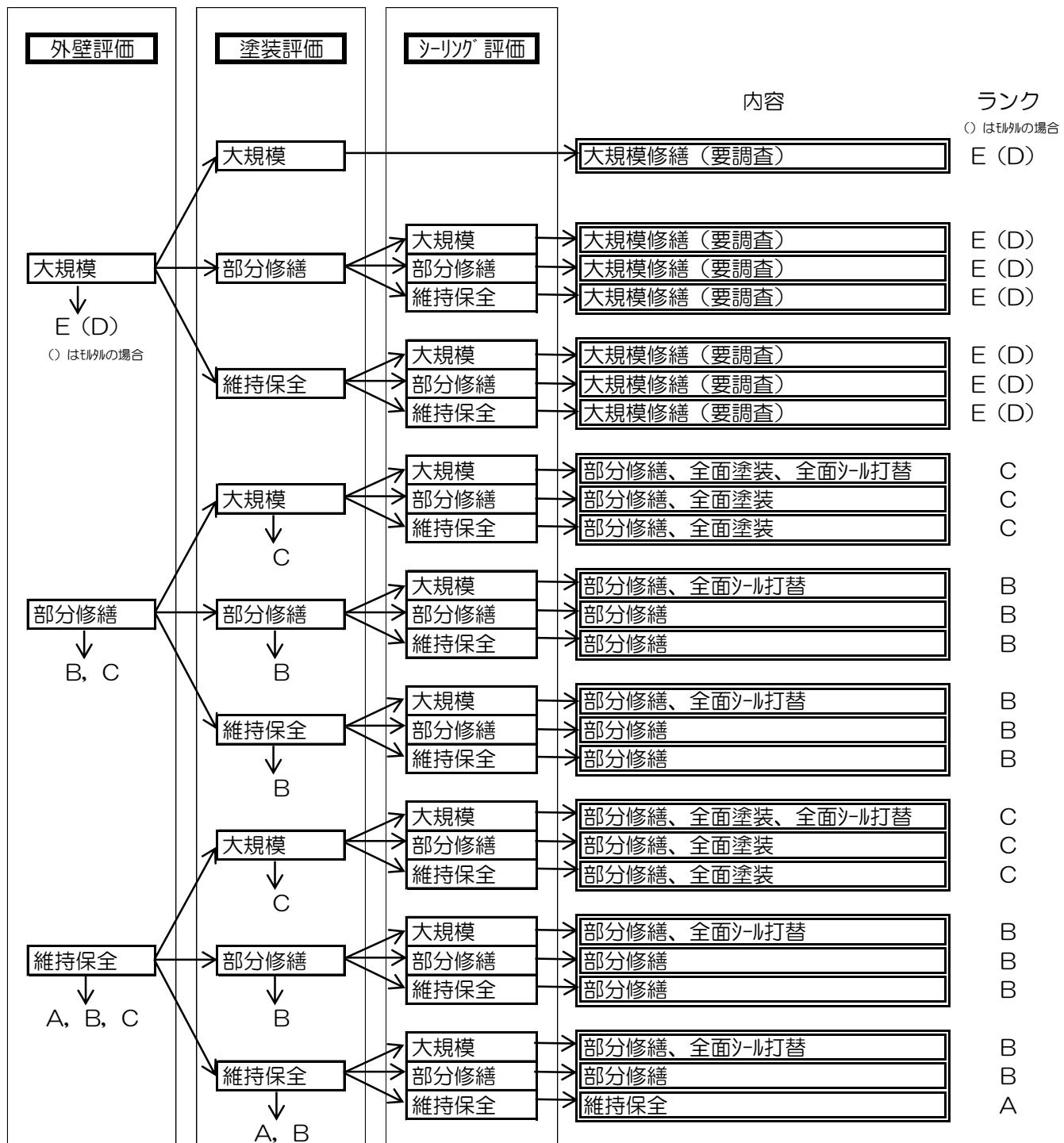
外壁シーリングの判定シートから、破断長及び剥離長をスケール等で実測し、調査したシーリング長と劣化しているシーリング長の割合の平均で評価する。

5) 屋根・屋上防水評価

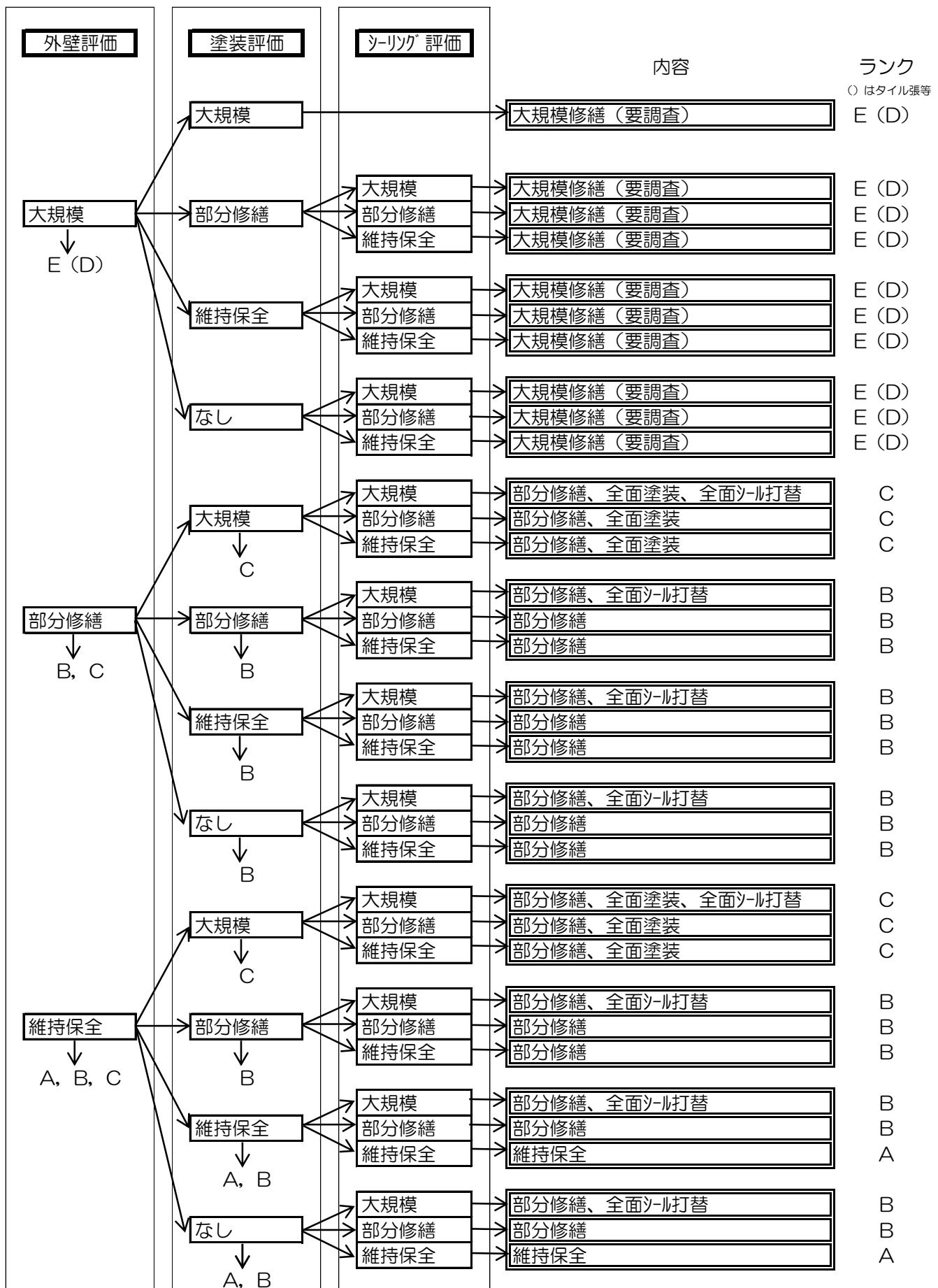
屋上防水の判定シートから、劣化の程度、改修後の経過年数により判定する。

6) 判定フロー

仕上げ別劣化度判定フロー（打放し外壁・モルタル外壁）



仕上げ別劣化度判定フロー（CB表し外壁・無塗装外壁）



(4) 調査結果の分類

1) 外壁

現地調査の結果は、外壁の種類に応じた劣化度判定フローに示すとおり、劣化の程度毎に4段階に分類し整理を行った。

修繕の必要性が最も低いものから順に「A」～「C」、大規模修繕が必要なものを「E (D)」とする。

ランク「A」	補修の必要がない
ランク「B」	外壁、塗装の部分補修またはシーリング部の補修が必要
ランク「C」	塗装が劣化、全面塗装が必要
ランク「E (D)」	外壁及び構造体が劣化、大規模修繕が必要 (モルタル、タイル、板状の仕上げ外壁等のため構造体の劣化状況が確認できない)

2) 屋根・屋上

屋根・屋上の判定シートに示すとおり、劣化の程度毎に3段階に分類し整理を行った。

修繕の必要性が最も低いものから順に「A」、「B」、大規模修繕が必要なものを「C」とする。

ランク「A」	補修の必要がない
ランク「B, C」	屋根塗装等の部分補修及び屋上防水の部分補修が必要
ランク「D」	屋根全体の塗装が劣化、全面塗装が必要。屋上防水層等全体が劣化、大規模修繕が必要

3) 建物ランクの算出

外壁と屋根・屋上のランクを点数化し、その点数に外壁と屋根の比重*を乗じることにより、建物ランクを算出する。

外壁（比重：0.7）	
ランク	点数
A	100 (70)
B	70 (49)
C	30 (21)
E (D)	0

屋根・屋上（比重：0.3）	
ランク	点数
A	100 (30)
B	
C	50 (15)
D	0

建物ランク	
ランク	点数
A	80～100
B	60～79
C	30～59
D	0～29

ランク「A」	補修の必要がない
ランク「B」	外壁、塗装の部分補修またはシーリング部の補修、屋根の部分修繕が必要な場合有
ランク「C」	外壁の塗装が劣化、全面塗装が必要。屋根の部分修繕または大規模修繕が必要な場合有
ランク「D」	外壁及び構造体が劣化、大規模修繕が必要。屋根の部分修繕または大規模修繕が必要な場合有

(5) 劣化状況調査結果

1) 劣化状況調査結果概要

劣化度調査対象 33 棟のうち、「A」9 棟 (28.1%)、「B」13 棟 (40.6%)、「C」7 棟 (21.9%)、「D」3 棟 (9.4%) となった。

そのうち、修繕の必要性がある「B」から「D」ランクの施設が 23 棟 (71.9%) を占めている。

表 建物ランク別施設数

外壁ランク	棟数	構成比	修繕の必要性
A	9	28.1%	修繕の必要がない
B	13	40.6%	外壁、塗装の部分修繕またはシーリング部の修繕が必要
C	7	21.9%	塗装が劣化、全面塗装が必要
D	3	9.4%	外壁及び構造体が劣化、大規模修繕が必要（モルタル外壁等のため構造体の劣化状況が確認できない）
合計	32	100.0%	

表 施設別調査結果

施設概要	施設名	建物名	構造	建築年	構造的欠陥の有無		外壁		塗装		外壁シーリング・瓦等)		屋根(板金・瓦等)		屋上防水		建物ランク	
					判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定	判定
1 坂北支所	庁舎	鉄骨造	1976	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
2 本庁舎	庁舎	(鉄骨鉄筋コンクリート造)	1985	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	A
3 坂井支所	庁舎	鉄筋コンクリート造	1978	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
4 旧坂北小学校	校舎	鉄筋コンクリート造	1984	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
5 旧坂北小学校	音楽室棟	鉄筋コンクリート造	2004	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
6 旧坂北小学校	給食棟	鉄筋コンクリート造	1984	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	A
7 旧坂北小学校	体育館	鉄骨造	1987	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
8 旧坂北小学校	プール更衣室	木造	1997	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	A
9 本城公民館	本城公民館	鉄筋コンクリート造	1974	なし	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	C	D
10 坂北公民館(坂北総合福祉センター)	坂北公民館	鉄筋コンクリート造	1973	なし	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	維持保全	B
11 筑北村公民館	筑北村公民館	鉄筋コンクリート造	1983	なし	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	—	B
12 子育て支援センター	子育て支援センター	木造	1993	なし	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	—	B
13 築北ひまわり保育園	筑北ひまわり保育園	木造	2000	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	A
14 坂井保育園	坂井保育園	鉄骨造	2001	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	A
15 国民健康保険診療所	国民健康保険診療所	木造	1990	なし	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	—	B
16 西条温泉どくら	西条温泉どくら	鉄筋コンクリート造	1997	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	B
17 差切峡温泉坂北荘	坂北荘本館	木造	1977	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
18 草湯温泉冠着荘	草湯温泉冠着荘	鉄骨造	1969	なし	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	—	C
19 健康館	健康館	鉄骨造	1993	なし	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	大規模修繕	部分修繕	—	D
20 歴史民俗資料館	日健康管理センター	鉄筋コンクリート造	1982	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	A
21 本城体育馆	本城体育馆	鉄骨鉄筋コンクリート造	1990	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	B
22 坂北体育馆	坂北体育馆	鉄筋コンクリート造	1979	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	A
23 坂井体育馆	坂井体育馆	鉄骨鉄筋コンクリート造	1987	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	C
24 本城柔剣道場	本城柔剣道場	鉄骨造	1991	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	C
25 社会福祉会館きさかけ荘	きさかけ荘	鉄骨造	1995	なし	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	—	A
26 坂北デイサービスセンター・地域情報センター	情報センター	鉄骨造	1997	なし	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	C	D
27 坂北デイサービスセンター・地域情報センター	老人福祉施設	鉄骨造	1997	なし	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	26と同様	
28 坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	鉄骨造	1994	なし	維持保全	部分修繕	維持保全	部分修繕	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	B
29 グリーンスポーツハウス碧館	グリーンスポーツハウス碧館	鉄筋コンクリート造	1979	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	A	
30 本城農村環境改善センター	本城農村環境改善センター	鉄骨鉄筋コンクリート造	1985	なし	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	—	C
31 本城ふるさと館	本城ふるさと館	鉄骨造	1991	なし	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	大規模修繕	維持保全	—	D
32 坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設	坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設	鉄骨造	2000	なし	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	維持保全	—	B

3章 一次施設評価

1. 施設評価の考え方

今後の施設の管理方針を検討するうえでは、施設の老朽化度合いや維持管理等の運営に掛かるコスト、施設が位置している地域の人口状況、土砂災害や津波・洪水等の危険な箇所に該当していないか、施設の利用者数の状況等、様々な視点から評価し、施設管理の方向性を定めていく必要がある。

そのため、できるだけ客観的な視点により項目ごとの指標を定め、評価分析を行い、一定の評価結果を示すことで、各施設の適正な管理のための有効な検討材料とする。

ここでの評価結果は一次評価として扱い、これを基に上位計画での位置づけや施設の利用等も踏まえ、最終評価を行う。

(1) 施設評価の流れ

施設の評価は、「管理者視点」と「利用者視点」の大きく2つの視点から行う。

「管理者視点」では建物性能、建物管理状況、エネルギー費、運営費、「利用者視点」では人口密度、災害リスク、利用率、活用率の8つの項目で評価を行う。

表 評価の概要

視点	評価項目	評価概要
管理者視点	建物性能	劣化度調査により判定されたランクを点数化し評価。
	建物管理状況	予防保全で対応可能な11の設備における耐用年数を算出し、耐用年数の短い設備より施設管理状況を評価。
	エネルギー費	燃料費、電気、ガス代、上下水道代をもとにエネルギー費を算出、施設全体の平均エネルギー費と比較し、当該施設のエネルギー費を評価。
	運営費	人件費、使用料及び賃貸、指定管理委託料、その他をもとに運営費算出、施設全体の平均運営費と比較し、当該施設の運営費を評価。
利用者視点	人口密度	当該施設が位置する1kmメッシュの人口密度を評価。
	災害リスク	敷地における土砂災害・洪水のリスクをもとに災害のリスクを評価。
	利用率	延床面積と利用者数から率を算出、施設全体の平均利用率を比較し、当該施設の利用率を評価。
	活用率	開館日数と稼働（利用日数）から活用率を算出、施設全体の平均活用率と比較し、当該施設の活用率を評価。

(2) 施設項目・指標

1) 建物性能

建物性能は、平成30年度に実施した施設劣化度調査の判定により出されたA～D劣化度ランクを点数化し、施設の個別評価とする。状態が最も良いAランクは「0」点とし、Dランクは「3」点とする。

2) 建物管理状況

建築（屋根、外壁）、電気（受変電設備、非常用電気設備、中央監視設備、防災設備）、設備（空調設備、排煙設備、消火設備、給排水衛生設備、昇降機）の11項目について、耐用年数を算出し、A～Cランクの3段階で評価し、各設備の評価ランクの個数に応じて、

A～D ランクの4段階に評価する。A ランクは「0」点、D ランクは3点とする。

算出式：残耐用年数＝各設備の耐用年数－取得経過年数

残耐用年数 5 年超 → A

残耐用年数 0 年以上 5 年未満 → B

残耐用年数 0 年未満 → C

評価ランク 各設備の評価が全て A → A ランク 0 点

全てが A 又は B → B ランク 1 点

C が 1 ～ 4 個 → C ランク 2 点

C が 5 個以上 → D ランク 3 点

3) エネルギー費

燃料費、電気代、ガス代、上下水道代等のエネルギー費合計から当該施設のm²当たりのエネルギー費を算出し、当該施設と同じ施設類型の平均エネルギー費と比較し、エネルギー費の増減率を点数化することで評価する。

①当該施設のエネルギー費の算出 年間エネルギー費（円） 施設の延床面積（m ² ）	②同施設類型の平均エネルギー費に対する当該施設の増減率を算出 当該施設（円/m ² ） 同施設類型の平均（円/m ² ）	×100 – 100 (%)
【維持管理費の項目例】		
③維持管理の評価		
増減率のレンジ	評価	点数
-20%未満	A	0 点
-20%～20%未満	B	1 点
20%～40%未満	C	2 点
40%以上	D	3 点

4) 運営費

人件費、使用料及び賃借料等の運営費の合計から当該施設のm²当たりの運営費を算出し、当該施設と同じ施設類型の平均運営費と比較し、運営費の増減率を点数化することで評価する。

①当該施設の運営費の算出		②同施設類型の平均運営費に対する当該施設の増減率を算出	
年間運営費（円）	(円/m ²)	当該施設 (円/m ²)	同施設類型の平均 (円/m ²)
施設の延床面積 (m ²)			×100 – 100 (%)
③運営費の評価		【運営費の項目例】	
増減率のレンジ	評価	点数	
-20%未満	A	0点	・人件費
-20%～20%未満	B	1点	・使用料及び賃借料
20%～40%未満	C	2点	・委託費
40%以上	D	3点	・修繕費
			・保険料

5) 人口密度

人口密度の評価では、当該施設が位置している 1km メッシュの人口密度を算出し、評価する。評価基準は、1,000 人/k m²以上を「A」ランクとし、それ以下の密度の場合は段階的に評価を下げるものとする。

人口密度のレンジ	評価	点数
1,000 人/k m ² 以上	A	0点
500～1,000 人/k m ² 未満	B	1点
250～500 人/k m ² 未満	C	2点
250 人/ha 未満	D	3点

6) 災害リスク

当該施設が位置している場所が土砂災害危険区域内や土砂災害警戒区域に該当しているのか、津波及び洪水で 0.5m 以上浸水する箇所に該当しているのかを評価する。

土砂災害	津波・洪水	評価	点数
危険箇所以外	－	A	0点
	0.5m未満	B	1点
	0.5m以上	C	2点
危険箇所	－	C	2点
	0.5m未満	C	2点
	0.5m以上	D	3点

7) 利用率

利用率評価では、各施設の延床面積と年間利用者数から当該施設の m^2 あたりの利用者数を算出、当該施設と同じ施設類型の平均利用者数と比較し、利用者の増減率を点数化することで評価します。

①当該施設の利用者の算出		②同施設類型の平均利用者に対する当該施設の増減率を算出	
年間利用者（人）	（人/ m^2 ）	当該施設（人/ m^2 ）	$\times 100 - 100$ (%)
施設の延床面積（ m^2 ）			
③利用率の評価			
利用者増減率のレンジ	評価	点数	
-10%以上	A	0点	
-20~-10%	B	1点	
-30~20%	C	2点	
-30%未満	D	3点	

*利用者数が不明の場合などデータがない場合は中間点の2点で算出。

8) 活用率

活用率評価では、各施設の開館日数と稼働日（利用日数）から当該施設の稼働率を算出、当該施設と同じ施設類型の稼働率と比較し、当該建物の増減率を点数化することで評価する。

①当該施設の活用率の算出		②同施設類型の平均利用者に対する当該施設の増減率を算出	
稼働日（日）	$\times 100$ (%)	当該施設（稼働率）	$\times 100 - 100$ (%)
施設の開館日数（日）			
③利用率の評価			
利用者増減率のレンジ	評価	点数	
-10%以上	A	0点	
-20~-10%	B	1点	
-30~20%	C	2点	
-30%未満	D	3点	

*利用者数が不明の場合などデータがない場合は中間点の2点で算出。

(3) 評価分類

「管理者視点」と「利用者視点」の二つの視点に該当する8つの評価項目の点数をポートフォリオ分析にかけることで、施設の評価分類として大きく4つの方向性を示すことができる。

施設の評価結果は、「継続保全」、「更新検討」、「利用検討」、「用途廃止」の4つに分類される。

図 ポートフォリオ分析の分類

更新検討		用途廃止	
管理者視点	利用者視点	管理者視点	利用者視点
建物性能 悪	人口密度 高	建物性能 悪	人口密度 低
建物管理状況 悪	災害リスク 低	建物管理状況 悪	災害リスク 高
エネルギー費 高	利用率 高	エネルギー費 高	利用率 低
運営費 高	活用率 高	運営費 高	活用率 低
継続保全		利用検討	
管理者視点	立地・利用視点	管理者視点	利用者視点
建物性能 良	人口密度 高	建物性能 良	人口密度 低
建物管理状況 良	災害リスク 低	建物管理状況 良	災害リスク 高
エネルギー費 低	利用率 高	エネルギー費 低	利用率 低
運営費 低	活用率 高	運営費 低	活用率 低

表 評価分類

評価分類	分類された施設の特徴	主な検討内容
継続保全	施設の状態がよく、光熱水費、運営費も少ない。また、人口密度が高い場所に立地し、災害リスクも低く、利用者が多い施設群。	○現状を維持して、このまま継続的に利用し、継続保全を図る施設。
更新検討	施設が劣化しており、光熱水費、運営費も多くかかっている施設だが、人口密度が高い場所に立地し、災害リスクも低く、利用者が多い施設群。	○施設の必要性が認められる施設であり、建替えや他の施設との複合化などを検討する施設。 ○建替えによる複合化などにより維持管理費の縮減を検討する。
利用検討	施設の状態がよく、光熱水費、運営費も少ない。しかし、人口密度が低い場所に立地し、災害リスクが高く、利用者も少ない施設群。	○継続的に利用するが、他の用途への転用や売却等を検討する。
用途廃止	施設が劣化しており、光熱水費、運営費も多い。また、人口密度が低い場所に立地し、災害リスクが高く、利用者も少ない施設群。	○必要性が低い施設であり、利用後は用途廃止を検討する。 ○用途廃止した施設や土地の売却・貸付・譲渡などを検討する。

2. 一次評価結果

一次評価結果をみると、割合が多い順に「更新検討」が44棟(31.2%)、「用途廃止」が42棟(29.8%)、「継続保全」が28棟(19.9%)、「利用検討」が27棟(19.1%)となっている。

図 施設分類毎の一次評価結果

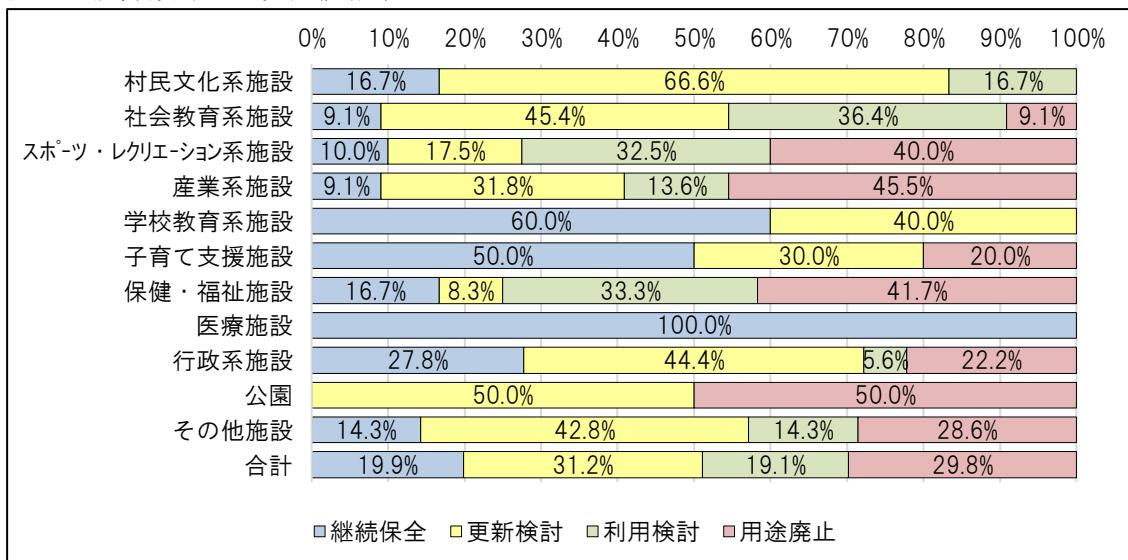


表 施設分類毎の一次評価結果

分類	継続保全	更新検討	利用検討	用途廃止	合計
村民文化系施設	1 16.7%	4 66.6%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
社会教育系施設	1 9.1%	5 45.4%	4 36.4%	1 9.1%	11 100.0%
スポーツ・レクリエーション系施設	4 10.0%	7 17.5%	13 32.5%	16 40.0%	40 100.0%
産業系施設	2 9.1%	7 31.8%	3 13.6%	10 45.5%	22 100.0%
学校教育系施設	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
子育て支援施設	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	10 100.0%
保健・福祉施設	2 16.7%	1 8.3%	4 33.3%	5 41.7%	12 100.0%
医療施設	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
行政系施設	5 27.8%	8 44.4%	1 5.6%	4 22.2%	18 100.0%
公園		2 50.0%		2 50.0%	4 100.0%
その他施設	1 14.3%	3 42.8%	1 14.3%	2 28.6%	7 100.0%
合計	28 19.9%	44 31.2%	27 19.1%	42 29.8%	141 100.0%

施設分類毎の一次評価結果をポートフォリオへ落とし込むと下図のとおりとなる。
なお、評価結果が各評価分類の中間に位置した場合は、より悪い評価の方で判断している。

図 村民文化系施設の一次評価結果

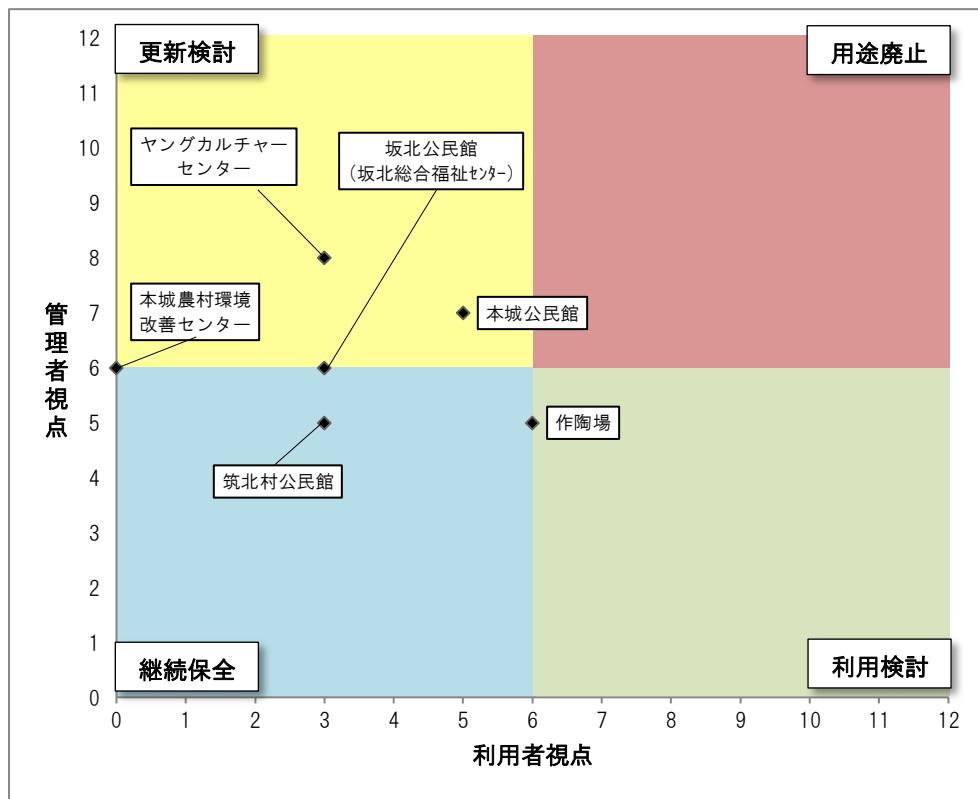


図 社会教育系施設の一次評価結果

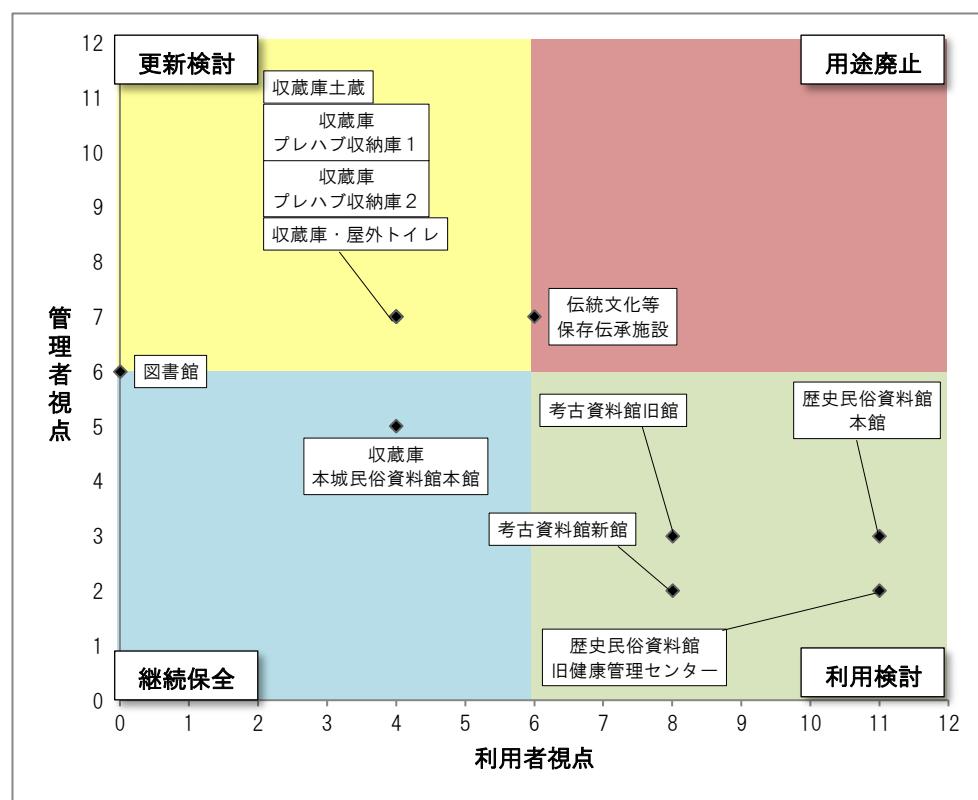


図 スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）の一次評価結果

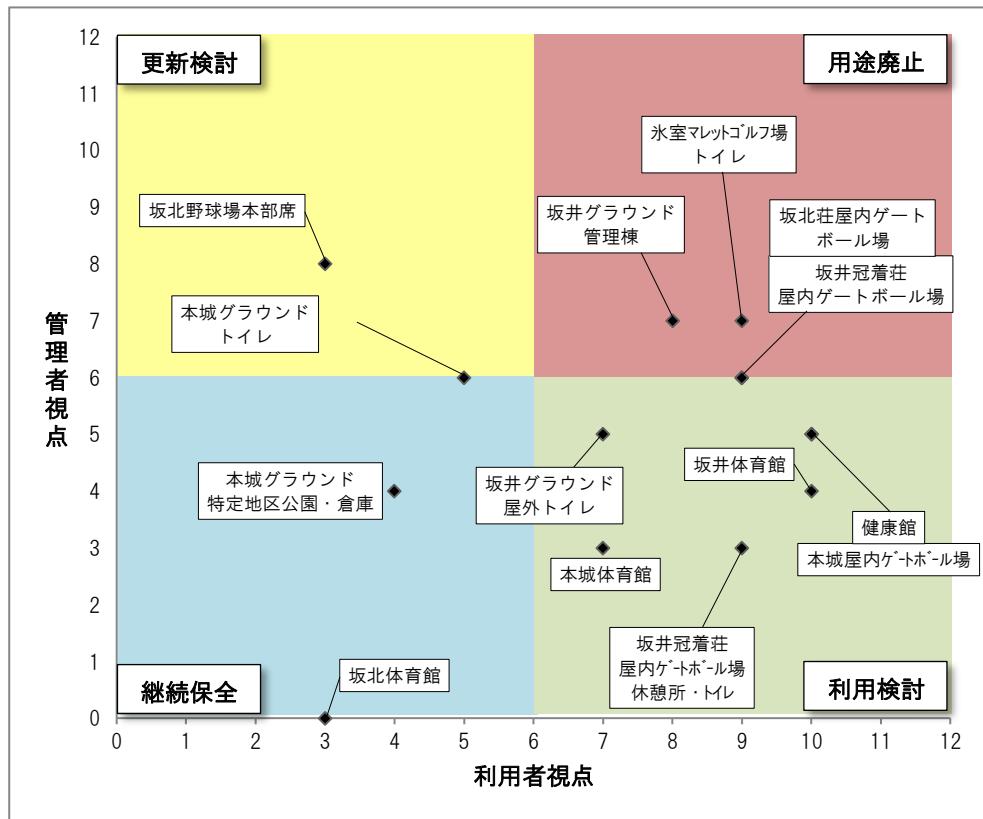


図 スポーツ・レクリエーション系施設（レクリエーション・観光施設）の一次評価結果

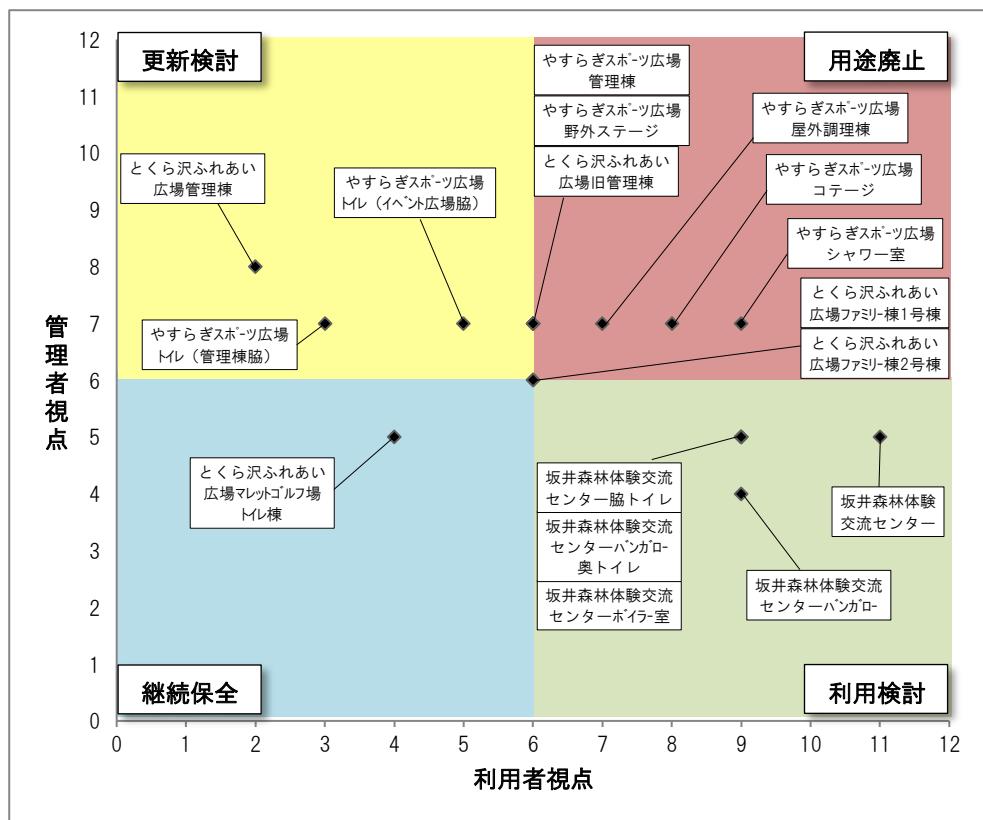


図 スポーツ・レクリエーション系施設（保養施設）の一次評価結果

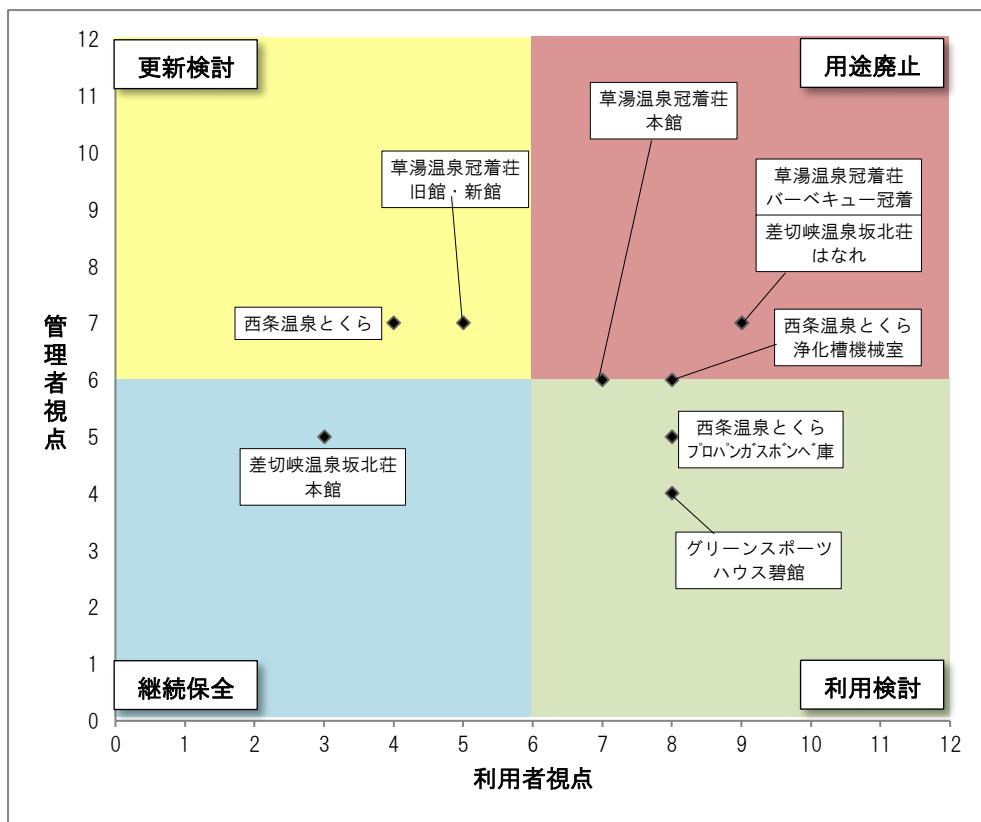


図 産業系施設の一次評価結果

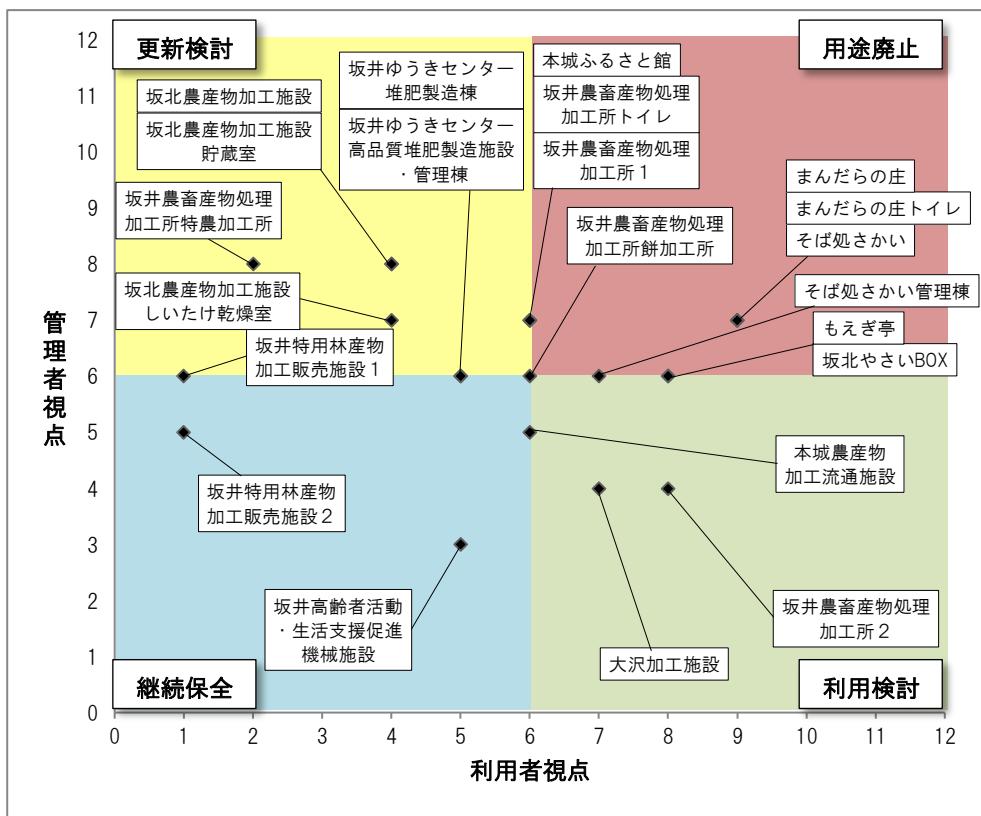


図 学校教育系施設の一次評価結果

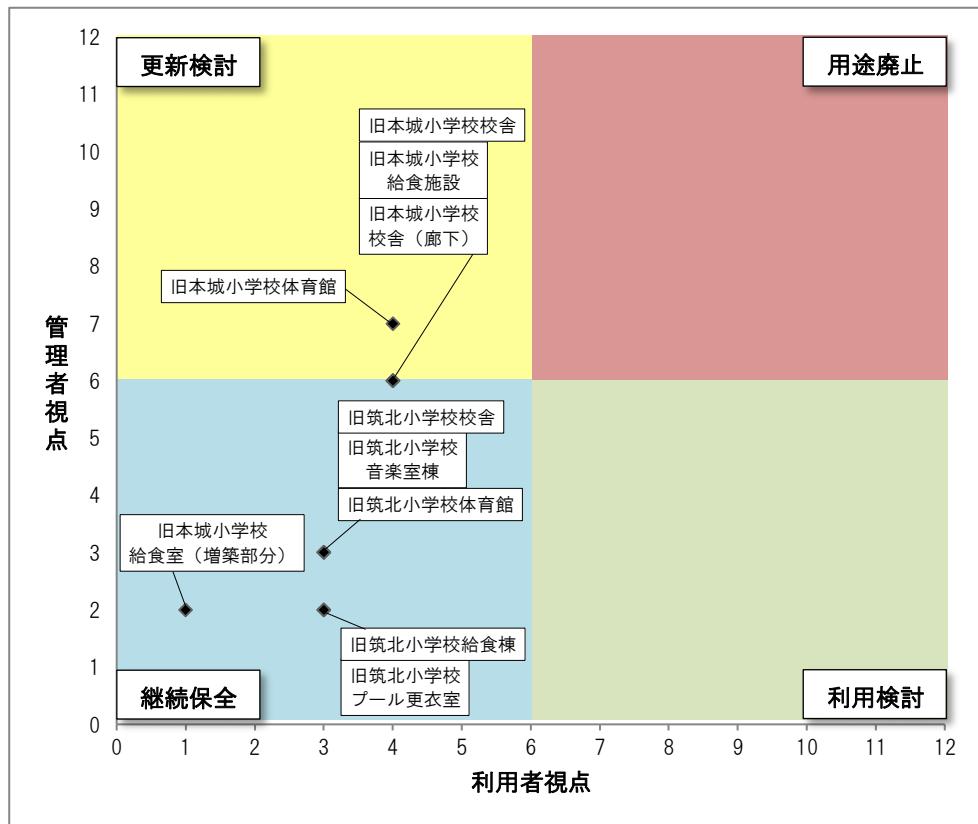


図 子育て支援施設の一次評価結果

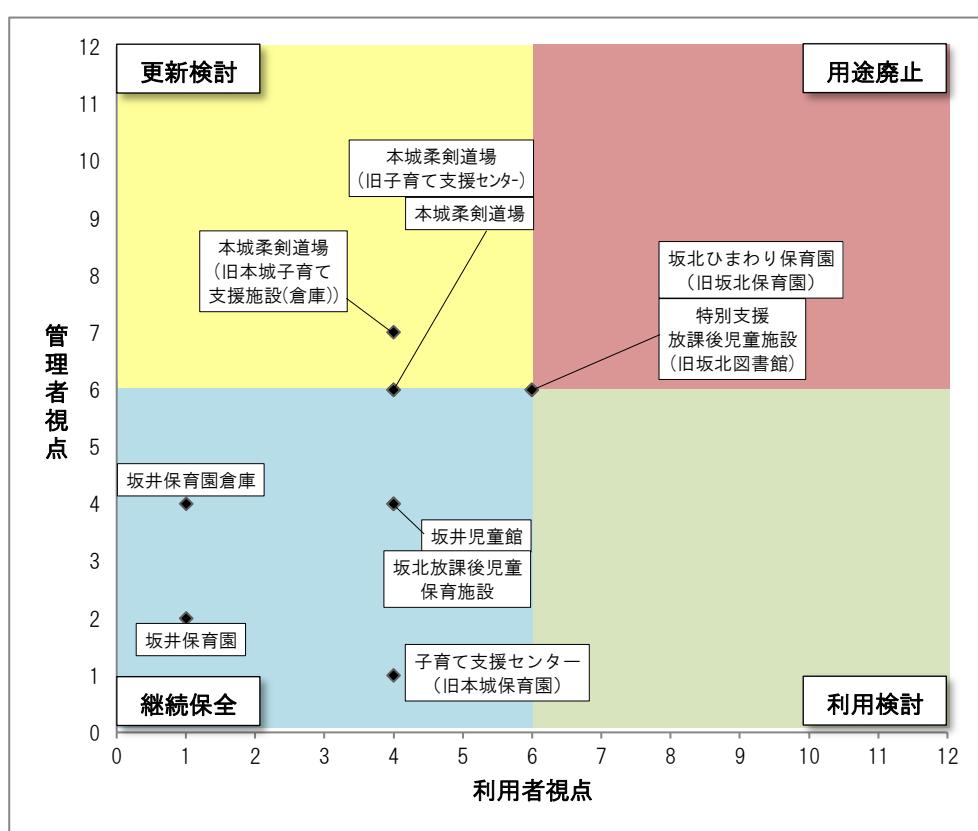


図 保健・福祉施設の一次評価結果

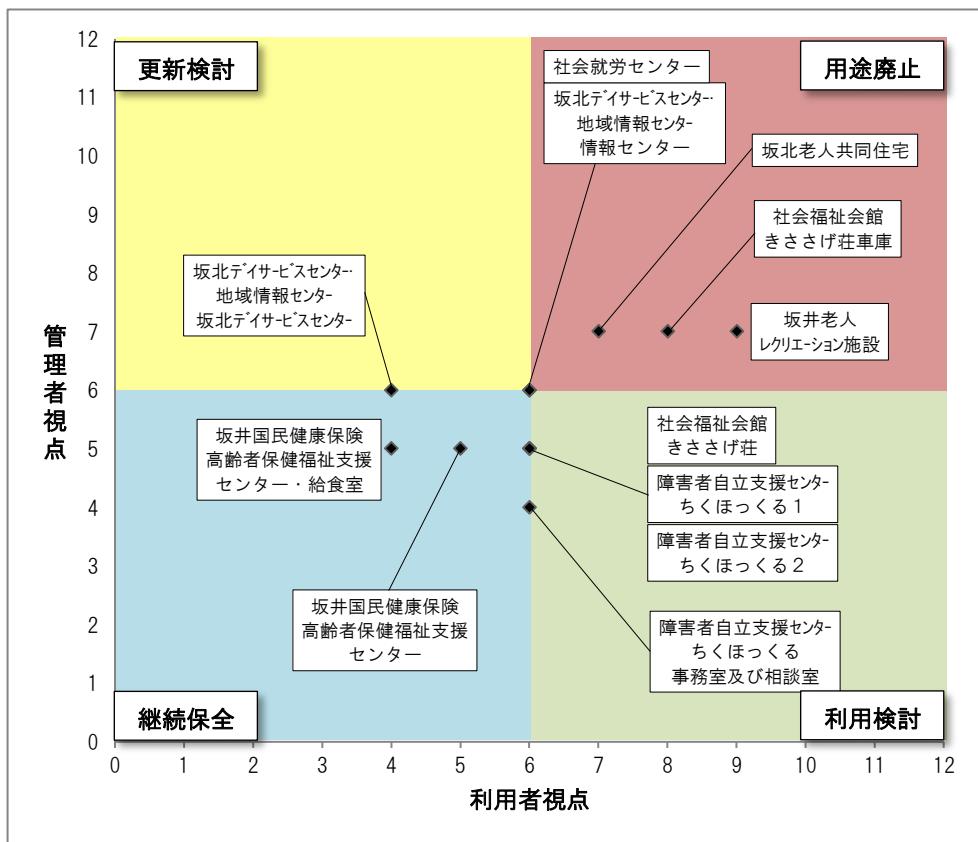


図 医療施設の一次評価結果

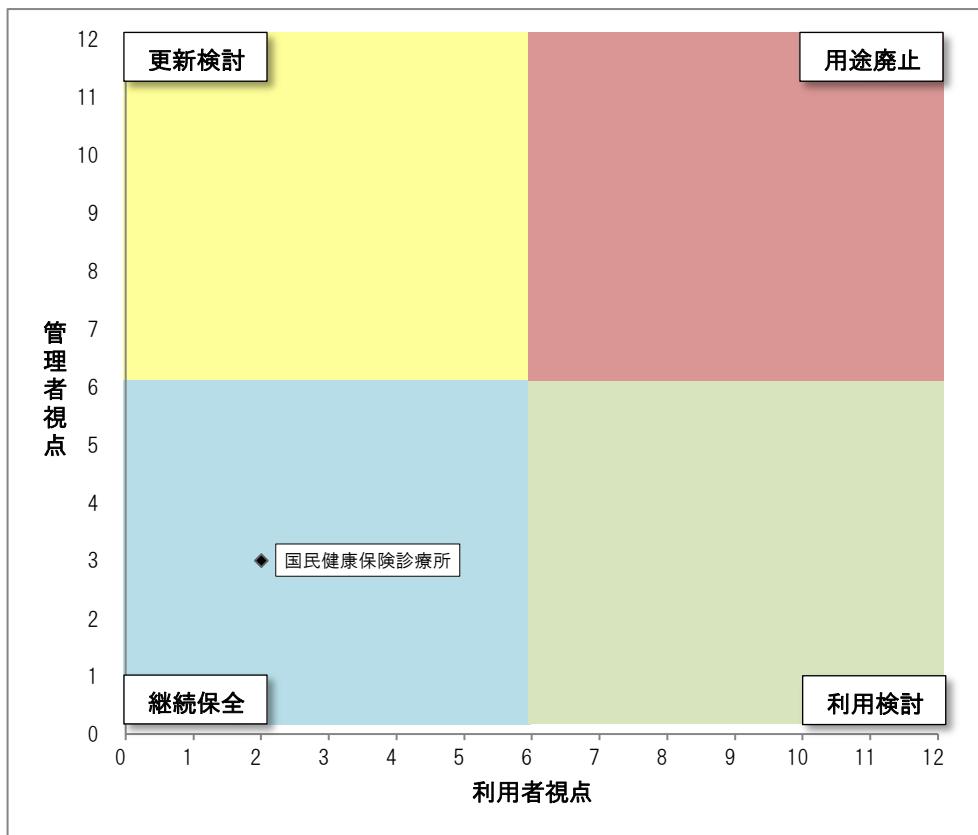


図 行政系施設の一次評価結果

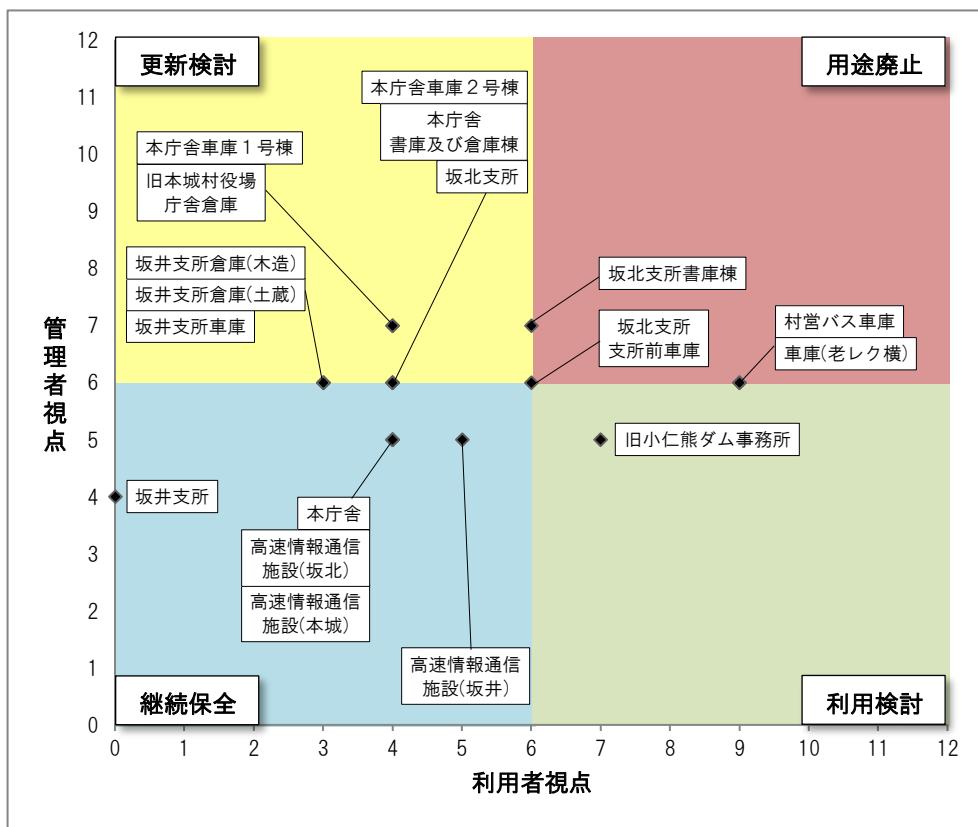


図 公園施設の一次評価結果

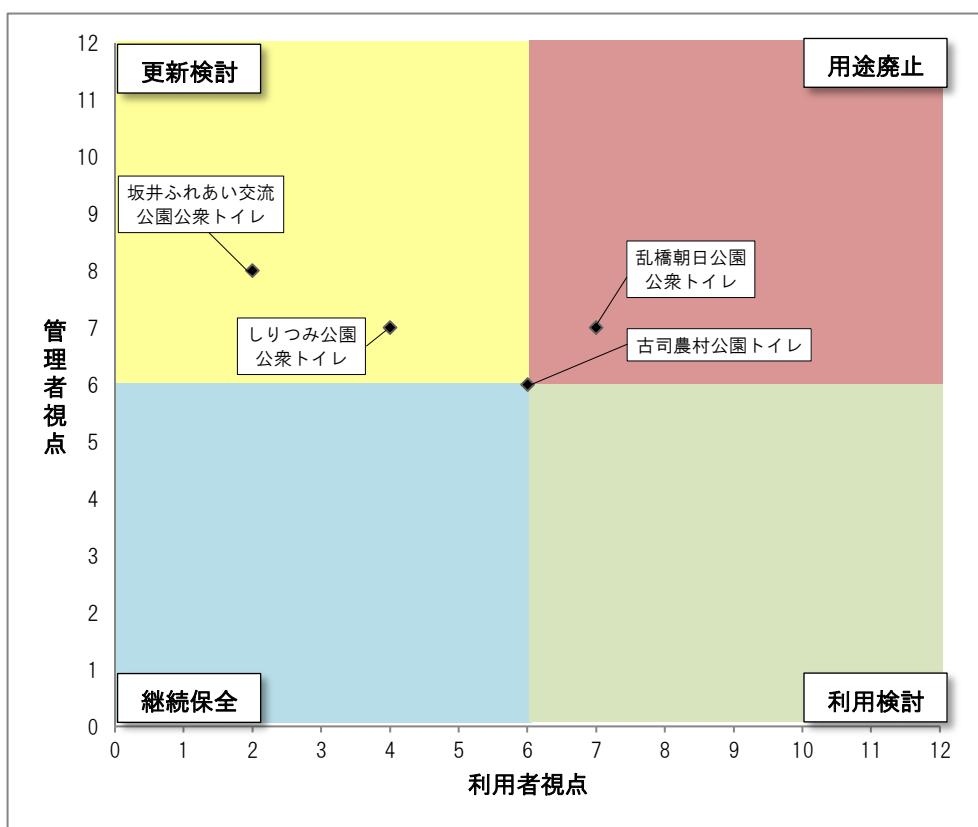
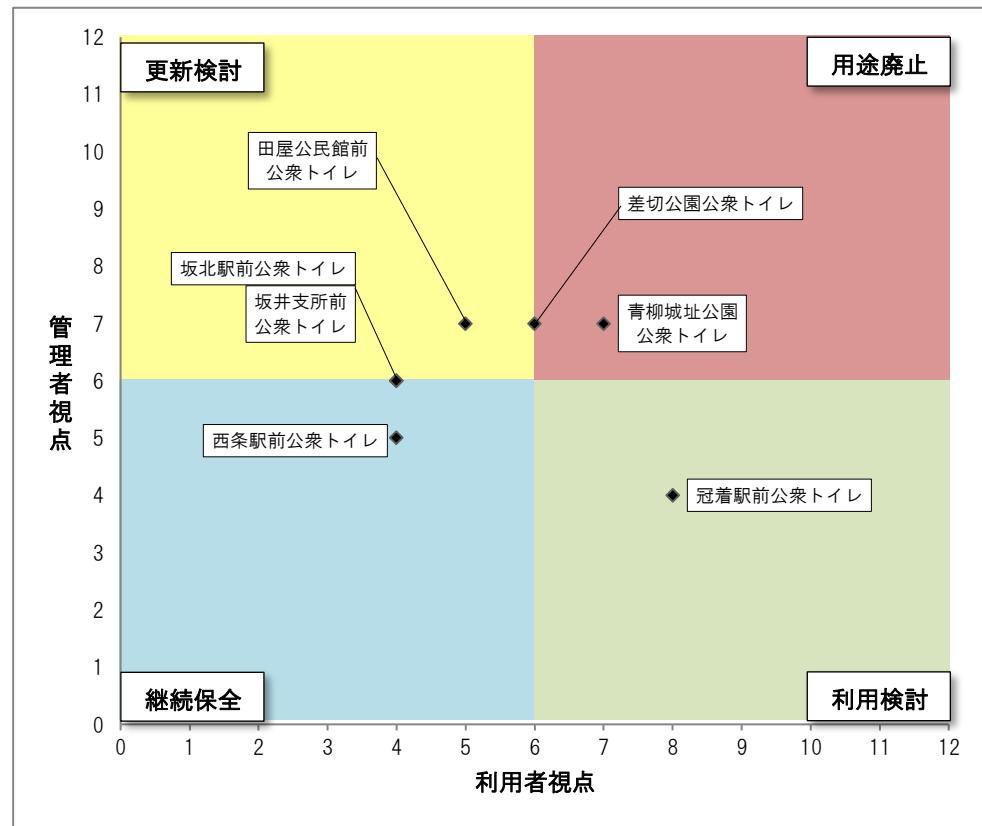


図 その他施設の一次評価結果



4章 施設類型毎の整備・管理の方針

1. 施設分類毎の再評価と整備・管理の方針

ここでは、前章の棟毎の一次評価に加え、上位計画である筑北村公共施設等総合管理計画での位置づけや施設の利用実態等を踏まえ、施設管理の方向性を再評価し、施設毎の整備・管理の方針について整理する。

(1) 村民文化系施設

村民文化系施設は大きく分けて集会施設、文化施設に分類される。

更に、集会施設は公民館、交流施設等の2つに分類される。

1) 集会施設（公民館）

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の3施設である。上位計画の整備方針では3施設ともに現状維持となっており、修繕等の維持管理を行いながら、今後は集約化も検討するとしている。

一次評価結果では、本城公民館および坂北公民館が建物性能の低さから「更新検討」、筑北村公民館が「継続保全」となっている。

表 集会施設（公民館）の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
本城公民館	S49	1	1	・既存施設を現状維持する。 ・各地域の重要な拠点であり、また団体等の利用もあるため、修繕等の維持管理を行いながら運営する。	更新検討
坂北公民館（坂北総合福祉センター）	S48	1	1	・今後、施設の老朽化に伴い、支所等との集約化も検討する。	更新検討
筑北村公民館	S58	1	1		継続保全

②再評価と整備・管理の方針

- ・本城公民館および坂北公民館は、旧耐震基準の建物であり、早期に耐震診断による確認を行い、耐震化がされていない場合は早期に耐震化を図る必要がある。また、坂北公民館については、近隣に廃校となる旧筑北小学校があり、今後の利用検討の結果により機能が重複する可能性がある。

■整備・管理の方針

- ・本城公民館は「更新検討」とし、耐震診断、耐震化を検討する。
- ・坂北公民館は旧筑北小学校の今後の利用検討、地区住民の意見を踏まえながら、「用途廃止」を検討する。
- ・筑北村公民館は「継続保全」とし、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 集会施設（公民館）の整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
本城公民館	S49	1	1	更新検討
坂北公民館（坂北総合福祉センター）	S48	1	1	用途廃止
筑北村公民館	S58	1	1	継続保全

2) 集会施設（交流施設）

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設である。上位計画の整備方針では、本城農村環境改善センターは村役場の一部として利用されていることから、現状維持を原則としている。ヤングカルチャーセンターは、老朽化後に廃止するとしている。

一次評価結果では、本城農村環境改善センター、ヤングカルチャーセンターともに利用率の高さから「更新検討」となっている。

表 集会施設（交流施設）の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
本城農村環境改善センター	S60	1	1	・本城農村環境改善センターは、村役場の一部として利用されており、現状維持を原則とする。	更新検討
ヤングカルチャーセンター	H3	1	1	・ヤングカルチャーセンターは、老朽化後に廃止とする。	更新検討

②再評価と整備・管理の方針

- ・ヤングカルチャーセンターは建物性能の評価は低いものの、利用率が高く、利用料も徴収している施設もある。

■整備・管理の方針

- ・本城農村環境改善センターは、一次評価の結果を受け、「更新検討」とする。
- ・ヤングカルチャーセンターは、収入のある施設であり、当面は「継続保全」とし、施設の利用状況や収支状況、施設の老朽化の進み具合から、今後の活用方針を判断する。当面は、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 集会施設（交流施設）の整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
本城農村環境改善センター	S60	1	1	更新検討
ヤングカルチャーセンター	H3	1	1	継続保全

3) 文化施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の1施設である。上位計画の整備方針では、作陶場は施設の利用状況を踏まえ、廃止を検討することとしている。

一次評価結果では、施設の状態は良くないものの、立地の悪さから「利用検討」となっている。

表 文化施設の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
作陶場	H2	1	1	・廃止とする。 ・施設の利用状況と老朽化の状況により廃止の時期を検討する。	利用検討

②再評価と整備・管理の方針

- 作陶場は、利用者が年間延べ1,300人以上いる施設である。

■整備・管理の方針

- 作陶場は利用者がおり、大きな経費も掛かっていないため、当面は「継続保全」として、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 文化施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
作陶場	H2	1	1	継続保全

(2) 社会教育系施設

1) 図書館

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の1施設である。上位計画の整備方針では、図書館は坂北支所へ移設されるため、現状維持を基本としている。

一次評価結果では、利用者視点の評価は高く、施設の状態は問題ないものの、坂北支所全体としてのエネルギー費や運営費の評価が低く「更新検討」となっている。

表 図書館の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
図書館	S51	1	1	・平成28年度に坂北支所の庁舎へ移設される予定のため、現状維持を基本とする。	更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- 図書館は平成28年に坂北支所に移設済であり、建物性能に問題はなく、利用者も多い事から「継続保全」とし、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 図書館の整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
図書館	S51	1	1	継続保全

2) 博物館等

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の4施設である。上位計画の整備方針では、収蔵庫および考古資料館は歴史民俗資料館に集約し、今後は倉庫として利用することとしている。伝統文化等保存伝承施設は地元管理の集会施設として利用されている事から、集会施設と同等として検討することとしている。

一次評価結果では、収蔵庫はエネルギー費の評価の違いにより棟によって「継続保全」または「更新検討」となっている。伝統文化等保存伝承館は「用途廃止」、考古資料館および歴史民俗資料館はともに「利用検討」となっている。

表 博物館等の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
収蔵庫	本城民俗資料館本館	S52	1	・筑北村収蔵庫、筑北村考古資料館は、今後は倉庫として利用する。	継続保全
土蔵	S52				更新検討
プレハブ収納庫1	S52				更新検討
プレハブ収納庫2	S52				更新検討
屋外トイレ	S52				更新検討

伝統文化等保存伝承施設		H6	1	1	・伝統文化等保存伝承施設は、地元の地区で管理し、集会施設として利用されており、集会施設と同等として検討する。	用途廃止
考古資料館	旧館	M33	1	2	・筑北村収蔵庫、筑北村考古資料館は、今後は倉庫として利用する。	利用検討
	新館	S57				利用検討
歴史民俗資料館	本館	H2	1	2	・筑北村歴史民俗資料館に縮小（集約化）し、展示内容の充実を図る。	利用検討
	旧健康管理センター	S57				利用検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・収蔵庫は、歴史民俗資料館への集約化が決定しており、建物の老朽化が進んでいる事から、集約後は施設全体を「用途廃止」とする。
- ・伝統文化等保存伝承館は「利用検討」とし、地区の利用状況を精査した上で、別用途での利用も検討する。
- ・考古資料館は「利用検討」とし、歴史民俗資料館への集約後の有効活用について検討する。
- ・歴史民俗資料館は、収蔵庫および考古資料館を集約するほか、建物の状態も良い事から「利用検討」として、利用者増に向けて他用途での利用も検討する。

表 博物館等の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
収蔵庫	本城民俗資料館本館	S52	1	5	用途廃止
	土蔵	S52			用途廃止
	プレハブ収納庫1	S52			用途廃止
	プレハブ収納庫2	S52			用途廃止
	屋外トイレ	S52			用途廃止
伝統文化等保存伝承施設		H6	1	1	利用検討
考古資料館	旧館	M33	1	2	利用検討
	新館	S57			利用検討
歴史民俗資料館	本館	H2	1	2	利用検討
	旧健康管理センター	S57			利用検討

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

1) スポーツ施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の 11 施設である。上位計画の整備方針では、健康館は利用状況を踏まえ廃止を検討するとしている。本城体育館、坂北体育館は、それぞれ他用途と併用しているため、大規模修繕時期に現状維持か廃止を検討するとしている。本城グラウンド、坂井グラウンドは現状維持としている。氷室マレットゴルフ場は規模縮小、坂井冠着荘以外の屋内ゲートボール場は廃止、又は他用途への転換としている。

一次評価結果では、坂北体育館は「継続保全」、健康館および本城体育館、坂井体育館、本城屋内ゲートボール場は「利用検討」、坂北野球場は「更新検討」、氷室マレットゴルフ場および坂北荘屋内ゲートボール場は「用途廃止」、その他は棟により評価結果が混在している。

表 スポーツ施設の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
健康館	H3	1	1	・利用状況を踏まえ、施設の老朽化に併せて廃止を検討する。	利用検討
本城体育館	H2	1	1	・本城体育館はウェルネス高等学校のクラブ活動で利用している。 ・大規模な修繕が必要となった際に、現状維持か廃止を検討する。	利用検討
坂北体育館	S54	1	1	・坂北体育館の 1 階の柔剣道場部分を、社会就労センターとして改築中。（改築済） ・大規模な修繕が必要となった際に、現状維持か廃止を検討する。	継続保全
坂井体育館	S62	1	1	-	利用検討
本城グラウンド	トイレ	H23	1	・現状維持を基本とする。 ・本城グラウンドのサブグラウンドは、サッカー場としての整備を予定している。（整備済）	更新検討
	特定地区公園・倉庫				継続保全
坂北野球場	本部席	H1	1	-	更新検討
坂井グラウンド	管理棟	S55	1	・現状維持を基本とする。	用途廃止
	屋外トイレ				利用検討
氷室マレットゴルフ場	トイレ	H13	1	・利用状況を踏まえて縮小（規模縮小）を検討する。	用途廃止
本城屋内ゲートボール場		H3	1	・本城屋内ゲートボール場は、屋内野球練習場として改築を予定している。	利用検討
坂北荘屋内ゲートボール場		H5	1	・坂北荘屋内ゲートボール場は、村内からのアクセスが不便であり、利用が少ないため、廃止を検討する。	用途廃止
坂井冠着荘屋内 ゲートボール場	ゲートボール場	H8	1	・坂井冠着荘屋内ゲートボール場は現状維持を基本とする。	用途廃止
	休憩所・トイレ	H13			利用検討

②再評価と整備・管理の方針

- ・健康館の多目的ホールは平成30年度に屋根修繕を実施している。
- ・坂北体育館は1階を社会就労センターが使用している。
- ・坂井体育館は平成30年度にバドミントン専用施設として改修済である。
- ・本城グラウンドは、サブグラウンドをサッカーグラウンドとして改修済である。
- ・坂北野球場、坂井グラウンドは収入と支出のバランスが取れていない。
- ・氷室マレットゴルフ場、坂北荘および坂井冠着荘屋内ゲートボール場は利用実態がほとんど無い。

■整備・管理の方針

- ・健康館は「利用検討」とし、利用状況を精査し、他用途への活用を検討する。区画ごとに、それぞれの利用検討を行う必要があるので、検討の結果利用しない部分は廃止する等検討する。プールは数年以内に解体し廃止する。
- ・本城体育館および坂北体育館は、上位計画を踏まえ、当面は「継続保全」として、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- ・坂井体育館はバドミントン専用体育館に改修したばかりであり、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行うとともに、利用者増に向けた方策を検討する。
- ・本城グラウンドのトイレについては、一次評価の結果を受け、「更新検討」とする。また、倉庫については「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- ・坂北野球場は経常的な利用者はいる事から、当面は「継続保全」として、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行うとともに、利用者増に向けた方策を検討する。
- ・坂井グラウンドは、上位計画を踏まえ、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行うとともに、利用者増に向けた方策を検討する。
- ・氷室マレットゴルフ場は、利用状況を精査した上で、「用途廃止」とする。
- ・本城屋内ゲートボール場は、芝を張替済であり、当面は「継続保全」として、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- ・坂北荘屋内ゲートボール場は、上位計画、一次評価結果を踏まえ、「用途廃止」とする。
- ・坂井冠着荘屋内ゲートボール場は、上位計画を踏まえ、当面は「継続保全」として、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 スポーツ施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
健康館		H3	1	1	利用検討
本城体育館		H2	1	1	継続保全
坂北体育館		S54	1	1	継続保全
坂井体育館		S62	1	1	継続保全
本城グラウンド	トイレ	H23	1	2	更新検討
	特定地区公園・倉庫	H29			継続保全
坂北野球場	本部席	H1	1	1	継続保全
坂井グラウンド	管理棟	S55	1	2	継続保全
	屋外トイレ	H23			継続保全
氷室マレットゴルフ場	トイレ	H13	1	1	用途廃止
本城屋内ゲートボール場		H3	1	1	継続保全
坂北荘屋内ゲートボール場		H5	1	1	用途廃止
坂井冠着荘屋内ゲートボール場	ゲートボール場	H8	1	2	継続保全
	休憩所・トイレ	H13			継続保全

2) レクリエーション・観光施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の3施設である。上位計画の整備方針では、やすらぎスポーツ広場およびとくら沢ふれあい広場については利用状況を踏まえて統廃合することとしている。また、坂井森林体験交流センターは、施設の再利用を検討している。

一次評価結果では、やすらぎスポーツ広場については「更新検討」または「用途廃止」、坂井森林体験交流センターは「利用検討」、とくら沢ふれあい広場は平成17年に建設されたマレットゴルフ場トイレを除き「更新検討」または「用途廃止」となっている。

表 レクリエーション・観光施設の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価	
やすらぎスポーツ広場	コテージ	H6 H5 H6 H5 H6 H5 H9	1	7	・やすらぎ簡易宿泊施設は利用が少なく、とくら沢ふれあい広場は利用が多くリピーターもみられるなど、施設によって施設利用率が異なるため、縮小（統廃合）を図る。	用途廃止
	管理棟					
	トイレ（管理棟脇）					
	トイレ（イベント広場脇）					
	屋外調理棟					
	野外ステージ					
	シャワー室					
坂井森林体験交流センター	交流センター	H3 H10 H3 H13 H13	1	5	・坂井森林体験交流センターは廃止の方向で検討する。バンガロー（5棟）は、施設の利用、再利用を検討する。現時点では消防法の関係で施設利用ができない状況となっている。	利用検討
	バンガロー					利用検討
	脇トイレ					利用検討
	バンガロー奥トイレ					利用検討
	ボイラー室					利用検討
とくら沢ふれあい広場	旧管理棟	H5 H11 H11 H11 H17	1	5	・やすらぎ簡易宿泊施設は利用が少なく、とくら沢ふれあい広場は利用が多くリピーターもみられるなど、施設によって施設利用率が異なるため、縮小（統廃合）を図る。	用途廃止
	管理棟					更新検討
	ファミリー棟1号棟					用途廃止
	ファミリー棟2号棟					用途廃止
	マレットゴルフ場トイレ棟					継続保全

②再評価と整備・管理の方針

- ・やすらぎスポーツ広場、とくら沢ふれあい広場は建物により利用状況が異なり、より精査する必要がある。
- ・坂井森林体験交流センターは、消防施設の改修を行い、令和元年5月より運営を指定管理とし、営業を再開している。

■整備・管理の方針

- ・やすらぎスポーツ広場の建物のうち、コテージ、管理棟、屋外調理棟、野外ステージ、シャワー室については、当面は「継続保全」として、各建物毎の利用状況を精査した上で、今後の活用方針を検討する。また、トイレ2棟については、一次評価の結果を

受け、「更新検討」とする。

- ・坂井森林体験交流センターは「利用検討」とし、将来的な有効活用について検討する。
- ・とくら沢ふれあい広場、当面は「継続保全」として、各建物毎の利用状況を精査した上で、今後の活用方針を検討する。

表 レクリエーション・観光施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
やすらぎスポーツ広場	コテージ	H6	1	7	継続保全
	管理棟	H5			継続保全
	トイレ（管理棟脇）	H6			更新検討
	トイレ（イベント広場脇）	H5			更新検討
	屋外調理棟	H6			継続保全
	野外ステージ	H5			継続保全
	シャワー室	H9			継続保全
坂井森林体験交流センター	交流センター	H3	1	5	利用検討
	バンガロー	H10			利用検討
	脇トイレ	H3			利用検討
	バンガロー奥トイレ	H13			利用検討
	ボイラー室	H13			利用検討
とくら沢ふれあい広場	旧管理棟	H5	1	5	継続保全
	管理棟	H11			継続保全
	ファミリー棟1号棟	H11			継続保全
	ファミリー棟2号棟	H11			継続保全
	マレットゴルフ場トイレ棟	H17			継続保全

3) 保養施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の4施設である。上位計画の整備方針では、西条温泉とくらおよびグリーンスポーツ碧館、草湯温泉冠着荘は現状維持、差切峡温泉坂北荘は規模縮小としている。

一次評価結果では、建物性能のほか、エネルギー費の状況から、棟によって評価が異なり、施設によって混在している結果となっている。

表 保養施設の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
西条温泉とくら	西条温泉とくら	H9	1	3	・西条温泉とくら、草湯温泉冠着荘は利用も多く、今後も残したいとの要望が多いことから、現状維持を基本とする。	更新検討
	プロパンガスボンベ庫	H9				利用検討
	浄化槽機械室	H9				用途廃止
差切峡温泉坂北荘	本館	S52	1	2	・差切峡温泉坂北荘は利用状況に応じて縮小（規模縮小）を検討する。	継続保全
	はなれ	S62				用途廃止
草湯温泉冠着荘	冠着荘旧館・新館	S44	1	3	・西条温泉とくら、草湯温泉冠着荘は利用が多く、今後も残したいとの要望が多いことから、現状維持を基本とする。	更新検討
	バーベキュー冠着	S45				用途廃止
	冠着荘本館	H6				用途廃止
グリーンスポーツハウス碧館		S54	1	1	・グリーンスポーツハウス碧館はとくらの客室として利用しており、とくらとともに現状維持を基本とする。	利用検討

②再評価と整備・管理の方針

- ・差切峡温泉坂北荘はなれ、草湯温泉冠着荘バーベキュー冠着は、既に利用されなくなつてから長期間が経過している。

■整備・管理の方針

- ・保養施設に分類される4施設は重要な収益施設であり、基本的には「利用検討」と位置づけ、より収益性を高めるため、PPP/PFIの導入について検討する。
- ・但し、差切峡温泉坂北荘はなれ、草湯温泉冠着荘バーベキュー冠着は長期間利用されておらず、他用途へ活用する場合でも大規模修繕が必要となることから、「用途廃止」とする。

表 保養施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
西条温泉とくら	西条温泉とくら	H9	1	3	利用検討
	プロパンガスボンベ庫	H9			利用検討
	浄化槽機械室	H9			利用検討
差切峡温泉坂北荘	本館	S52	1	2	利用検討
	はなれ	S62			用途廃止
草湯温泉冠着荘	冠着荘旧館・新館	S44	1	3	利用検討
	バーベキュー冠着	S45			用途廃止
	冠着荘本館	H6			利用検討
グリーンスポーツハウス碧館		S54	1	1	利用検討

(4) 産業系施設

1) 産業系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の12施設である。上位計画の整備方針では、本城ふるさと館、坂北やさいBOX、もえぎ亭の3施設は集約化を検討するとしている。加工施設全般は、短期間の利用に限定される施設もあるため、集約化を図るとしている。坂井ゆうきセンターは現状維持を基本として、規模縮小を検討するとしている。

一次評価結果では、産直施設・食材供給施設はいずれも「用途廃止」、加工施設は棟によって評価が異なり、施設によって混在している施設が多くなっている。大沢加工施設、本城農産物加工流通施設は「利用検討」、坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設は「継続保全」、坂井ゆうきセンターは「更新検討」となっている。

表 産業系施設の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価	
本城ふるさと館	H3	1	1	・ふるさと館（本城）と、やさいBOX・もえぎ亭（坂北）は位置が近いため、今後、縮小（集約化）を検討する。	用途廃止	
坂北やさいBOX	H10	1	1		用途廃止	
もえぎ亭	H13	1	1		用途廃止	
まんだらの庄	まんだらの庄	H5 H13	1	・本城、坂北地域で1箇所、坂井地域で1箇所の拠点に縮小（集約化）を図る。	用途廃止	
	トイレ				用途廃止	
そば処さかい	そば処さかい	H8 H10	1	・本城、坂北地域で1箇所、坂井地域で1箇所の拠点に縮小（集約化）を図る。	用途廃止	
	管理棟				用途廃止	
坂井特用林産物加工販売施設	坂井特用林産物加工販売施設 1	H13 H9	1	2	更新検討	
	坂井特用林産物加工販売施設 2					
大沢加工施設	H1	1	1		利用検討	
本城農産物加工流通施設	S62	1	1		利用検討	
坂北農産物加工施設	坂北農産物加工施設	H2 H7 H9	1	3	・年間を通じて、短期間しか利用されていない施設があるため、縮小（集約化）を図り、施設の利用率を高める。 ・施設ごとに加工物の種類や設備が異なる場合は、設備の移設等も検討する。	更新検討
	貯蔵室					更新検討
	しいたけ乾燥室					更新検討
坂井農畜産物加工施設	坂井農畜産物処理加工所 1	H2 H5 H5 H13 H13	1	5	・坂井ゆうきセンターは現状維持を基本とするが、利用状況に応じて縮小（規模縮小）を検討する。	用途廃止
	坂井農畜産物処理加工所 2					利用検討
	餅加工所					用途廃止
	特農加工所					更新検討
	トイレ					用途廃止
坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設	H12	1	1		継続保全	
坂井ゆうきセンター	堆肥製造棟	H10 H8	1	2	・坂井ゆうきセンターは現状維持を基本とするが、利用状況に応じて縮小（規模縮小）を検討する。	更新検討
	高品質堆肥製造施設・管理棟					更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・本城ふるさと館、坂北やさいBOX、もえぎ亭、まんだらの庄、そば処さかいの5施設は、上位計画を踏まえ、当面は「継続保全」とし、利用状況等を精査し、機能の集約化等を検討する。
- ・大沢加工施設は、利用が少ない事から、「用途廃止」とする。
- ・坂井農畜産物処理加工所のうち、農畜産物処理加工所2棟については「用途廃止」とする。
- ・上記以外の加工施設については、当面は「継続保全」とし、利用状況を精査したうえで、集約化を検討する。
- ・坂井ゆうきセンターは、令和元年度より村からの負担金がなくなることから、譲渡を前提として「用途廃止」とする。

表 産業系施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
本城ふるさと館	H3	1	1	継続保全
坂北やさいBOX	H10	1	1	継続保全
もえぎ亭	H13	1	1	継続保全
まんだらの庄	まんだらの庄	H5	1	2
	トイレ	H13		
そば処さかい	そば処さかい	H8	1	2
	管理棟	H10		
坂井特用林産物加工販売施設	坂井特用林産物加工販売施設 1	H13	1	2
	坂井特用林産物加工販売施設 2	H9		
大沢加工施設	H1	1	1	用途廃止
本城農産物加工流通施設	S62	1	1	継続保全
坂井農産物加工施設	坂北農産物加工施設	H2	1	3
	貯蔵室	H7		
	しいたけ乾燥室	H9		
坂井農畜産物処理加工所	坂井農畜産物処理加工所 1	H2	1	5
	坂井農畜産物処理加工所 2	H5		
	餅加工所	H5		
	特農加工所	H13		
	トイレ	H13		
坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設	H12	1	1	継続保全
坂井ゆうきセンター	堆肥製造棟	H10	1	2
	高品質堆肥製造施設・管理棟	H8		

(5) 学校教育系施設

1) 学校教育系施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設である。上位計画の計画策定後に小学校1校、中学校1校へ統廃合されている事から、対象2施設については「利用検討」が基本となる。

一次評価結果では、旧本城小学校は「更新検討」または「継続保全」、旧筑北小学校は「継続管理」となっている。

表 学校教育系施設の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
旧本城小学校	校舎	S54	1	5	-	更新検討
	給食施設	H11				更新検討
	体育館	S34				更新検討
	給食室（増築部分）	H26				継続保全
	校舎（廊下）	S60				更新検討
旧筑北小学校	校舎	S59	1	5	-	継続保全
	音楽室棟	H16				継続保全
	給食棟	S59				継続保全
	体育館	S62				継続保全
	プール更衣室	H6				継続保全

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・旧本城小学校は、現在、ウェルネス高等学校への貸付施設であり、当面は現状維持となるが、将来的には他用途への利用も検討する。
- ・旧筑北小学校は「利用検討」とし、施設を有効活用し、収益性を上げるため、PPP／PFIの導入を検討する。但し、プールについては転用が難しいことから、「用途廃止」とする。

表 学校教育系施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
旧本城小学校	校舎	S54	1	5	継続保全
	給食施設	H11			継続保全
	体育館	S34			継続保全
	給食室（増築部分）	H26			継続保全
	校舎（廊下）	S60			継続保全

旧筑北小学校	校舎	S59	1	5	利用検討
	音楽室棟	H16			利用検討
	給食棟	S59			利用検討
	体育館	S62			利用検討
	プール更衣室	H6			用途廃止

(6) 子育て支援施設

1) 保育園

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設である。上位計画の整備方針は、現状維持を基本として、将来的には統廃合も検討するとしている。

一次評価結果では、筑北ひまわり保育園は「用途廃止」、坂井保育園は「継続保全」となっている。

表 保育園の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
筑北ひまわり保育園	旧坂北保育園	H12	1	1	・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	用途廃止
坂井保育園	坂井保育園	H13	1	2	・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	継続保全
	倉庫	H1				継続保全

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・筑北ひまわり保育園、坂井保育園とともに、上位計画を踏まえ、当面は「継続保全」とし、日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 保育園の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
筑北ひまわり保育園	旧坂北保育園	H12	1	1	継続保全
坂井保育園	坂井保育園	H13	1	2	継続保全
	倉庫	H1			継続保全

2) 幼児・児童施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の5施設である。上位計画の整備方針は、現状維持を基本として、将来的には統廃合も検討するとしている。本城柔剣道場については、計画策定時点で道場としての利用がなかったため、有効利用を図るとしている。

一次評価結果では、本城柔剣道場は「更新検討」、筑北村特別支援放課後児童施設は「用途廃止」、それ以外の施設は「継続保全」となっている。

表 幼児・児童施設の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
子育て支援センター	旧本城保育園	H5	1	1	・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	継続保全
本城柔剣道場	日本城子育て支援施設（倉庫）	H5	1	3	・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	更新検討
	旧子育て支援センター	H19			・本城柔剣道場は、柔剣道としての利用がないため、用途変更により有効利用する。老朽化後は廃止を検討する。	更新検討
	本城柔剣道場	H3			・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	更新検討
坂北放課後児童保育施設		H14	1	1	・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	継続保全
坂井児童館		H12	1	1	・現状維持を基本とするが、将来的には統廃合も検討する。	継続保全
筑北村特別支援放課後児童施設	旧坂北図書館	S58	1	1	-	用途廃止

②再評価と整備・管理の方針

- 本城柔剣道場の道場棟は、平成29年9月よりスポーツクラブへ無償貸付している。

■整備・管理の方針

- 子育て支援センター（旧本城保育園）、坂北放課後児童保育施設、坂井児童館の3施設は、上位計画を踏まえ、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- 本城柔剣道場は、道場棟を貸付しているが、「利用検討」とし、将来的な他用途への利用を検討する。
- 筑北村特別支援放課後児童施設（旧坂北図書館）は、一次評価の結果を受け、「用途廃止」とする。

表 幼児・児童施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
子育て支援センター	旧本城保育園	H5	1	1	継続保全
本城柔剣道場	旧本城子育て支援施設(倉庫)	H5	1	3	利用検討
	旧子育て支援センター	H19			利用検討
	本城柔剣道場	H3			利用検討
坂北放課後児童保育施設		H14	1	1	継続保全
坂井児童館		H12	1	1	継続保全
筑北村特別支援放課後児童施設	旧坂北図書館	S58	1	1	用途廃止

(7) 保健・福祉施設

1) 高齢福祉施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の5施設である。上位計画の整備方針は、現状維持を基本とするところながらも、今後の高齢化の進行に備え、サービス水準の維持、施設の充実を図る必要があるとしている。

一次評価結果では、坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センターは「継続保全」、坂北老人共同住宅と坂井老人レクリエーション施設は「用途廃止」、社会福祉会館きさげ荘と坂北デイサービスセンター・地域情報センターは棟によって評価結果が混在する結果となっている。

表 高齢福祉施設の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
社会福祉会館 きさげ荘	きさげ荘	H7	1	2	・現状維持を基本とする。	利用検討
	車庫	H7				用途廃止
坂北デイサー ビスセンタ ー・地域情報 センター	情報センター	H9	1	2	・現状維持を基本とする。	用途廃止
	坂北デイサービスセンター	H9			・現状維持を基本とする。	更新検討
坂北老人共同住宅		S49	1	1	・現状維持を基本とする。	用途廃止
坂井国民健康 保険高齢者保 健福祉支援セ ンター	坂井国民健康保険高齢者保 健福祉支援センター	H6	1	2	・現状維持を基本とする。	継続保全
	給食室	H24			・現状維持を基本とする。	継続保全
坂井老人レクリエーション施設		H2	1	1	・現状維持を基本とする。	用途廃止

②再評価と整備・管理の方針

- ・社会福祉会館きさげ荘、坂北デイサービスセンター、坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センターは、社会福祉協議会が使用している。
- ・坂井老人レクリエーション施設は利用者が少ない状況であるが、高齢者の集いの場として利用されている。

■整備・管理の方針

- ・社会福祉会館きさげ荘、坂北デイサービスセンター・地域情報センター、坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センターの3施設は、上位計画を踏まえ、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- ・坂北老人共同住宅は、老朽化が顕著なため「用途廃止」とするが、現在居住者もあり、今後も高齢者用共同住宅は必要であるため、同時に代替施設についてもコスト等に留意したうえで、速やかに検討する。
- ・坂井老人レクリエーション施設は利用が少ないものの、現在も高齢者の集いの場として利用されていることから、「利用検討」として将来的な他用途への利用を検討する。

表 高齢福祉施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
社会福祉会館きさげ 荘	きさげ荘	H7	1	2	継続保全
	車庫	H7			継続保全
坂北デイサービスセン ター・地域情報センタ ー	情報センター	H9	1	2	継続保全
	坂北デイサービスセンター	H9			継続保全
坂北老人共同住宅		S49	1	1	用途廃止
坂井国民健康保険高齢 者保健福祉支援センタ ー	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援セ ンター	H6	1	2	継続保全
	給食室	H24			継続保全
坂井老人レクリエーション施設		H2	1	1	利用検討

2) 障がい福祉施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の2施設である。上位計画の整備方針は、現状維持を基本としている。

一次評価結果では、障害者自立支援センターちくほっくるは「利用検討」、社会就労センターは「用途廃止」となっている。

表 障がい福祉施設の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
障害者自立支 援センターち くほっくる	ちくほっくる1	H22	1	3	・障害者自立支援センターちくほ っくるは現状維持を基本とする。	利用検討
	ちくほっくる2	H22				利用検討
	事務室及び相談室	H26				利用検討
社会就労センター		H28	1	1	・坂北体育館の1階の柔剣道場部 分を、社会就労センターとして改 築中。（改築済） ・大規模な修繕が必要となった際 に、現状維持か廃止を検討する。	用途廃止

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・障害者自立支援センターちくほっくる、社会就労センターはともに、上位計画を踏まえ、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 障がい福祉施設の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
障害者自立支援センター ちくほっくる	ちくほっくる1	H22	1	3	継続保全
	ちくほっくる2	H22			継続保全
	事務室及び相談室	H26			継続保全
社会就労センター		H28	1	1	継続保全

(8) 医療施設

1) 医療施設

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の1施設である。上位計画の整備方針は、現状維持を基本とするとしている。

一次評価結果では、「継続保全」となっている。

表 医療施設の対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
国民健康保険診療所	H2	1	1	・現状維持を基本とする。	継続保全

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・国民健康保険診療所は、現在医師が常駐しておらず診療所としては機能していないことから「利用検討」として、建物の有効活用だけでなく、今後の診療所のあり方について検討する。

表 医療施設の整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
国民健康保険診療所	H2	1	1	利用検討

(9) 行政施設

1) 庁舎等

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の 10 施設である。上位計画の整備方針は、庁舎施設については現状維持を基本としながら、施設の老朽化に伴い、各地域の公民館との集約化も検討している。その他の施設については、現状維持を基本としながら、老朽化が著しい施設は更新または廃止を検討している。

一次評価結果では、庁舎施設では坂北支所の車庫、書庫棟の「用途廃止」を除き、「継続保全」または「更新検討」となっている。その他の施設では、旧本城村役場庁舎倉庫が「更新検討」、村営バス車庫、車庫（老レク横）が「用途廃止」、旧小仁熊ダム事務所が「利用検討」、サーバー施設は 3 施設ともに「継続保全」となっている。

表 庁舎等の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価	
坂北支所	坂北支所	S51	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持を基本とする。 ・今後、施設の老朽化に伴い、各地域の公民館との集約化も検討する。 	更新検討	
	支所前車庫	H8				用途廃止	
	書庫棟	S51				用途廃止	
本庁舎	本庁舎	S60	1	4		継続保全	
	書庫及び倉庫棟	S60				更新検討	
	車庫 1 号棟	S60				更新検討	
	車庫 2 号棟	H4				更新検討	
坂井支所	坂井支所	S53	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持を基本とする。 ・今後、施設の老朽化に伴い、各地域の公民館との集約化も検討する。 	継続保全	
	倉庫（木造）	S52				更新検討	
	倉庫（土蔵）	M29				更新検討	
	車庫	S53				更新検討	
旧本城村役場庁舎倉庫		S36	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持を基本とするが、老朽化が著しいところは、更新または廃止を検討する。 	更新検討	
高速情報通信施設（坂北）		H17	1	1		継続保全	
高速情報通信施設（坂井）		H20	1	1		継続保全	
高速情報通信施設（本城）		H20	1	1		継続保全	
村営バス車庫		H8	1	1		用途廃止	
車庫（老レク横）		H8	1	1	・現状維持を基本とする。	用途廃止	
旧小仁熊ダム事務所		H15	1	1	・現状維持を基本とするが、老朽化が著しいところは、更新または廃止を検討する。	利用検討	

②再評価と整備・管理の方針

- ・本庁舎は平成27年度に大規模改修工事を実施済である。
- ・坂北支所は平成26年に耐震改修を実施済である。
- ・坂井支所は平成27年度に改修工事を実施済である。

■整備・管理の方針

- ・坂北支所は、現状として支所機能のほか、図書館等の他機能と建物を共有しており、使用している面積は小さいことから、「利用検討」として、利用状況等を精査したうえで、将来的な有効活用について検討する。支所前の車庫については村バスの車庫として利用しており、当面は「継続保全」とする。書庫棟については、建物の老朽化が進んでいるため、「用途廃止」とする。
- ・本庁舎は大規模改修工事を実施済であり、上位計画を踏まえ、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。書庫及び倉庫棟、車庫1号棟・2号棟については、建物の老朽化が進んでいるものの、現在も使用していることから「更新検討」とする。
- ・坂井支所は、上位計画を踏まえ、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。倉庫、車庫については、建物の老朽化が進んでいるため、「用途廃止」とする。
- ・旧本城村役場庁舎倉庫は、建物の老朽化が進んでいるため、「用途廃止」とする。
- ・各地域のサーバー施設3施設については、「継続保全」とする。
- ・村営バス車庫については、現在も使用していることから、当面は「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- ・車庫（老レク横）については、役場の倉庫として利用しており、当面は「継続保全」とする。
- ・旧小仁熊ダム事務所については、「利用検討」とし、他用途への有効活用を検討する。

表 庁舎等の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
坂北支所	坂北支所	S51	1	3	利用検討
	支所前車庫	H8			継続保全
	書庫棟	S51			用途廃止
本庁舎	本庁舎	S60	1	4	継続保全
	書庫及び倉庫棟	S60			更新検討
	車庫1号棟	S60			更新検討
	車庫2号棟	H4			更新検討
坂井支所	坂井支所	S53	1	4	継続保全
	倉庫（木造）	S52			用途廃止
	倉庫（土蔵）	M29			用途廃止
	車庫	S53			用途廃止
旧本城村役場庁舎倉庫		S36	1	1	用途廃止
高速情報通信施設（坂北）		H17	1	1	継続保全
高速情報通信施設（坂井）		H20	1	1	継続保全
高速情報通信施設（本城）		H20	1	1	継続保全
村営バス車庫		H8	1	1	継続保全
車庫（老レク横）		H8	1	1	継続保全
旧小仁熊ダム事務所		H15	1	1	利用検討

(10) 公園

1) 公園

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の4施設である。上位計画の整備方針は、利用状況を踏まえて、現状維持か規模縮小を検討するとしている。

一次評価結果では、坂井ふれあい交流公園としりつみ公園のトイレが「更新検討」、乱橋朝日公園と古司農村公園のトイレが「用途廃止」となっている。

表 公園（トイレ）の対象施設

施設名		建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
乱橋朝日公園	公衆トイレ	H7	1	1	・利用状況をふまえて現状維持か縮小（規模縮小）を検討する。 ・水洗トイレではない施設については、水洗化を図る。	用途廃止
坂井ふれあい交流公園	公衆トイレ	H13	1	1		更新検討
古司農村公園	トイレ	H1	1	1		用途廃止
しりつみ公園	公衆トイレ	H1	1	1		更新検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・乱橋朝日公園、古司農村公園、しりつみ公園のトイレについては、利用も少ない事から、一次評価の結果を踏まえ「用途廃止」とする。
- ・坂井ふれあい交流公園のトイレについては、利用が多いことから、当面は「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。

表 公園（トイレ）の整備・管理の方針

施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
乱橋朝日公園	公衆トイレ	H7	1	1	用途廃止
坂井ふれあい交流公園	公衆トイレ	H13	1	1	継続保全
古司農村公園	トイレ	H1	1	1	用途廃止
しりつみ公園	公衆トイレ	H1	1	1	用途廃止

(11) その他施設

1) 公衆トイレ

①上位計画の整備方針と一次評価結果

対象となる施設は下表の7施設である。上位計画の整備方針は、現状維持を基本とするが、老朽化が著しいところは、更新または廃止を検討するとしている。

一次評価結果では、建物性能と人口密度の評価により、差切公園と青柳城址公園が「用途廃止」、田屋公民館前と坂北駅前、坂井支所前が「更新検討」、冠着駅前が「利用検討」、西条駅前が「継続保全」となっている。

表 公衆トイレの対象施設

施設名	建設年	施設数	棟数	総合管理計画の整備方針	一次評価
田屋公民館前公衆トイレ	H13	1	1	・現状維持を基本とするが、老朽化が著しいところは、更新または廃止を検討する。	更新検討
差切公園公衆トイレ	H13	1	1		用途廃止
青柳城址公園公衆トイレ	H13	1	1		用途廃止
坂北駅前公衆トイレ	H16	1	1		更新検討
坂井支所前公衆トイレ	H3	1	1		更新検討
西条駅前公衆トイレ	H21	1	1		継続保全
冠着駅前公衆トイレ	H24	1	1		利用検討

②再評価と整備・管理の方針

■整備・管理の方針

- ・西条駅前、冠着駅前の公衆トイレは、「継続保全」として日常の点検・保守を行い、必要に応じて修繕を行う。
- ・それ以外の5施設については、老朽化の状況、利用状況を精査したうえで、「更新検討」とする。

表 公衆トイレの整備・管理の方針

施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
田屋公民館前公衆トイレ	H13	1	1	更新検討
差切公園公衆トイレ	H13	1	1	更新検討
青柳城址公園公衆トイレ	H13	1	1	更新検討
坂北駅前公衆トイレ	H16	1	1	更新検討
坂井支所前公衆トイレ	H3	1	1	更新検討
西条駅前公衆トイレ	H21	1	1	継続保全
冠着駅前公衆トイレ	H24	1	1	継続保全

2. 評価結果の総括

最終的な評価結果をみると、割合が多い順に「継続保全」73棟(51.8%)、「利用検討」が29棟(20.6%)、「用途廃止」が26棟(18.4%)、「更新検討」が13棟(9.2%)となっている。

図 施設分類毎の評価結果

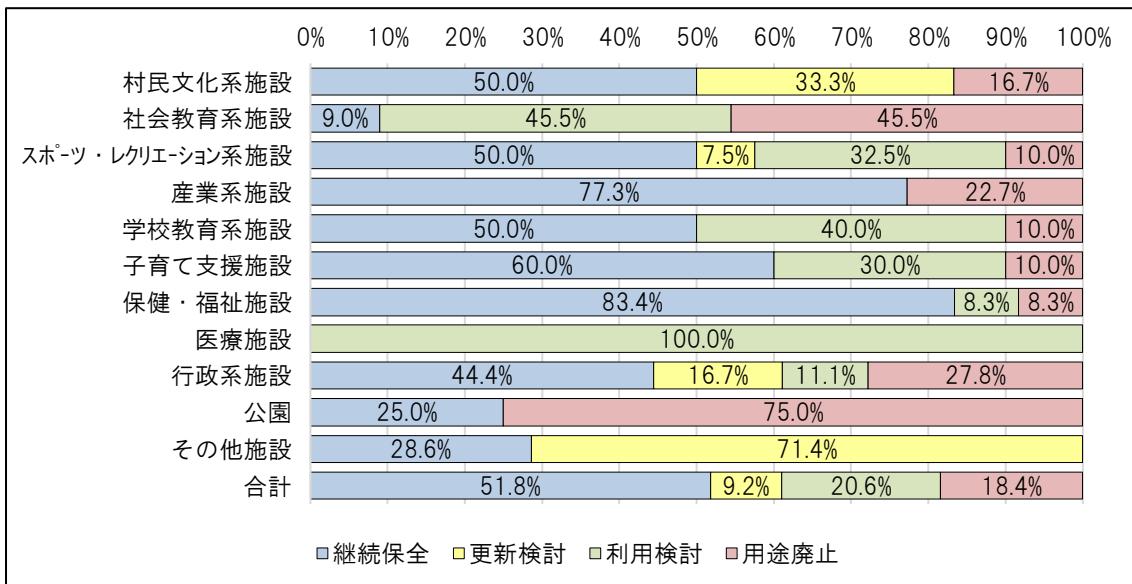


表 施設分類毎の評価結果

分類	継続保全	更新検討	利用検討	用途廃止	合計
村民文化系施設	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	6 100.0%
社会教育系施設	1 9.0%	0 0.0%	5 45.5%	5 45.5%	11 100.0%
スポーツ・レクリエーション系施設	20 50.0%	3 7.5%	13 32.5%	4 10.0%	40 100.0%
産業系施設	17 77.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 22.7%	22 100.0%
学校教育系施設	5 50.0%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	10 100.0%
子育て支援施設	6 60.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	10 100.0%
保健・福祉施設	10 83.4%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	12 100.0%
医療施設	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
行政系施設	8 44.4%	3 16.7%	2 11.1%	5 27.8%	18 100.0%
公園	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	4 100.0%
その他施設	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
合計	73 51.8%	13 9.2%	29 20.6%	26 18.4%	141 100.0%

表 評価結果の総括

分類	施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果	
村民文化系施設	本城公民館	S49	1	1	更新検討	
	坂北公民館（坂北総合福祉センター）	S48	1	1	用途廃止	
	筑北村公民館	S58	1	1	継続保全	
	本城農村環境改善センター	S60	1	1	更新検討	
	ヤングカルチャーセンター	H3	1	1	継続保全	
	作陶場	H2	1	1	継続保全	
社会教育系施設	図書館	S51	1	1	継続保全	
	収蔵庫	本城民俗資料館本館	S52	1	用途廃止	
		土蔵	S52		用途廃止	
		プレハブ収納庫1	S52		用途廃止	
		プレハブ収納庫2	S52		用途廃止	
		屋外トイレ	S52		用途廃止	
	伝統文化等保存伝承施設	H6	1	1	利用検討	
	考古資料館	旧館	M33	1	利用検討	
		新館	S57		利用検討	
	歴史民俗資料館	本館	H2	1	利用検討	
		旧健康管理センター	S57		利用検討	
スポーツ・レクリエーション系施設	健康館	H3	1	1	利用検討	
	本城体育館	H2	1	1	継続保全	
	坂北体育館	S54	1	1	継続保全	
	坂井体育館	S62	1	1	継続保全	
	本城グラウンド	トイレ	H23	1	更新検討	
		特定地区公園・倉庫	H29		継続保全	
	坂北野球場	本部席	H1	1	1	継続保全
	坂井グラウンド	管理棟	S55	1	継続保全	
		屋外トイレ	H23		継続保全	
	氷室マレットゴルフ場	トイレ	H13	1	1	用途廃止
	本城屋内ゲートボール場		H3	1	1	継続保全
	坂北荘屋内ゲートボール場		H5	1	1	用途廃止
	坂井冠着荘屋内ゲートボール場	ゲートボール場	H8	1	継続保全	
		休憩所・トイレ	H13		継続保全	
	やすらぎスポーツ広場	コテージ	H6	1	継続保全	
		管理棟	H5		継続保全	
		トイレ（管理棟脇）	H6		更新検討	
		トイレ（イベント広場脇）	H5		更新検討	
		屋外調理棟	H6		継続保全	
		野外ステージ	H5		継続保全	
		シャワー室	H9		継続保全	
坂井森林体験交流センター	交流センター	H3	1	5	利用検討	
	バンガロー	H10			利用検討	
	脇トイレ	H3			利用検討	
	バンガロー奥トイレ	H13			利用検討	
	ボイラー室	H13			利用検討	

分類	施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
スポーツ・レクリエーション系施設	とくら沢ふれあい広場	旧管理棟	H5	1	5	継続保全
		管理棟	H11			継続保全
		ファミリー棟1号棟	H11			継続保全
		ファミリー棟2号棟	H11			継続保全
		マレットゴルフ場トイレ棟	H17			継続保全
	西条温泉とくら	西条温泉とくら	H9	1	3	利用検討
		プロパンガスボンベ庫	H9			利用検討
		浄化槽機械室	H9			利用検討
	差切峡温泉坂北荘	本館	S52	1	2	利用検討
		はなれ	S62			用途廃止
産業系施設	草湯温泉冠着荘	冠着荘旧館・新館	S44	1	3	利用検討
		パーべキュー冠着	S45			用途廃止
		冠着荘本館	H6			利用検討
	グリーンスポーツハウス碧館		S54	1	1	利用検討
	本城ふるさと館	本城ふるさと館	H3	1	1	継続保全
		坂北やさいBOX	H10	1	1	継続保全
		もえぎ亭	H13	1	1	継続保全
	まんだらの庄	まんだらの庄	H5	1	2	継続保全
		トイレ	H13			継続保全
農林水産系施設	そば処さかい	そば処さかい	H8	1	2	継続保全
		管理棟	H10			継続保全
	坂井特用林産物加工販売施設	坂井特用林産物加工販売施設1	H13	1	2	継続保全
		坂井特用林産物加工販売施設2	H9			継続保全
	大沢加工施設		H1	1	1	用途廃止
	本城農産物加工流通施設		S62	1	1	継続保全
	坂北農産物加工施設	坂北農産物加工施設	H2	1	3	継続保全
		貯蔵室	H7			継続保全
		しいたけ乾燥室	H9			継続保全
畜産系施設	坂井農畜産物処理加工所	坂井農畜産物処理加工所1	H2	1	5	用途廃止
		坂井農畜産物処理加工所2	H5			用途廃止
		餅加工所	H5			継続保全
		特農加工所	H13			継続保全
		トイレ	H13			継続保全
	坂井高齢者活動・生活支援促進機械施設		H12	1	1	継続保全
	坂井ゆうきセンター	堆肥製造棟	H10	1	2	用途廃止
		高品質堆肥製造施設・管理棟	H8			用途廃止
学校教育系施設	旧本城小学校	校舎	S54	1	5	継続保全
		給食施設	H11			継続保全
		体育館	S34			継続保全
		給食室(増築部分)	H26			継続保全
		校舎(廊下)	S60			継続保全
	旧筑北小学校	校舎	S59	1	5	利用検討
		音楽室棟	H16			利用検討
		給食棟	S59			利用検討
		体育館	S62			利用検討
		プール更衣室	H6			用途廃止

分類	施設名		建設年	施設数	棟数	評価結果
子育て支援施設	筑北ひまわり保育園	旧坂北保育園	H12	1	1	継続保全
	坂井保育園	坂井保育園	H13	1	2	継続保全
		倉庫	H1			継続保全
	子育て支援センター	旧本城保育園	H5	1	1	継続保全
	本城柔剣道場	旧本城子育て支援施設（倉庫）	H5	1	3	利用検討
		旧子育て支援センター	H19			利用検討
		本城柔剣道場	H3			利用検討
	坂北放課後児童保育施設		H14	1	1	継続保全
	坂井児童館		H12	1	1	継続保全
	筑北村特別支援放課後児童施設	旧坂北図書館	S58	1	1	用途廃止
保健・福祉施設	社会福祉会館きさげ荘	きさげ荘	H7	1	2	継続保全
		車庫	H7			継続保全
	坂北デイサービスセンター・地域情報センター	情報センター	H9	1	2	継続保全
		坂北デイサービスセンター	H9			継続保全
	坂北老人共同住宅		S49	1	1	用途廃止
	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	H6	1	2	継続保全
		給食室	H24			継続保全
	坂井老人レクリエーション施設		H2	1	1	利用検討
	障害者自立支援センター	ちくほっくる1	H22	1	3	継続保全
		ちくほっくる2	H22			継続保全
		事務室及び相談室	H26			継続保全
	社会就労センター		H28	1	1	継続保全
医療施設	国民健康保険診療所		H2	1	1	利用検討
行政系施設	坂北支所	坂北支所	S51	1	3	利用検討
		支所前車庫	H8			継続保全
		書庫棟	S51			用途廃止
	本庁舎	本庁舎	S60	1	4	継続保全
		書庫及び倉庫棟	S60			更新検討
		車庫1号棟	S60			更新検討
		車庫2号棟	H4			更新検討
	坂井支所	坂井支所	S53	1	4	継続保全
		倉庫（木造）	S52			用途廃止
		倉庫（土蔵）	M29			用途廃止
		車庫	S53			用途廃止
	旧本城村役場庁舎倉庫		S36	1	1	用途廃止
	高速情報通信施設（坂北）		H17	1	1	継続保全
	高速情報通信施設（坂井）		H20	1	1	継続保全
	高速情報通信施設（本城）		H20	1	1	継続保全
	村営バス車庫		H8	1	1	継続保全
	車庫（老レク横）		H8	1	1	継続保全
	旧小仁熊ダム事務所		H15	1	1	利用検討
公園	乱橋朝日公園	公衆トイレ	H7	1	1	用途廃止
	坂井ふれあい交流公園	公衆トイレ	H13	1	1	継続保全
	古司農村公園	トイレ	H1	1	1	用途廃止
	しりつみ公園	公衆トイレ	H1	1	1	用途廃止

分類	施設名	建設年	施設数	棟数	評価結果
その他	田屋公民館前公衆トイレ	H13	1	1	更新検討
	差切公園公衆トイレ	H13	1	1	更新検討
	青柳城址公園公衆トイレ	H13	1	1	更新検討
	坂北駅前公衆トイレ	H16	1	1	更新検討
	坂井支所前公衆トイレ	H3	1	1	更新検討
	西条駅前公衆トイレ	H21	1	1	継続保全
	冠着駅前公衆トイレ	H24	1	1	継続保全

3. 整備・管理の方針に基づく更新コスト試算

ここでは「4章 1. 施設分類毎の再評価と整備・管理の方針」において整理した各施設・棟毎の評価結果に沿って、計画期間内の更新コストについて試算を行った。

(1) コスト試算の基本的な考え方

試算における前提条件は以下の通りとする。

1) 更新周期

- ・公共施設等費用試算ソフトを用いて試算する。
- ・建物耐用年数を60年とし、建築後30年で大規模改修を行い、その後の30年で建替を行う。
- ・大規模改修は修繕期間2年、建替は建替期間3年で平準化を図る。

2) 単価

- ・施設類型毎の更新単価は下表の通りとする。

表 施設類型毎の建替、大規模改修の単価

施設分類	建替単価 (万円/m ²)	大規模改修単価 (万円/m ²)
村民文化系施設	40	25
社会教育系施設	40	25
スポーツ・レクリエーション系施設	36	20
産業系施設	36	20
学校教育系施設	33	17
子育て支援施設	33	17
保健・福祉施設	40	25
医療施設	40	25
行政系施設	40	25
公園	36	20
その他施設	36	20

- ・評価結果を「継続保全」「更新検討」「利用検討」とした施設・棟は、上記の更新周期に合わせ、延床面積に単価を乗じてコストを算出する。
- ・評価結果を「用途廃止」とした施設・棟は、延床面積に下表の単価を乗じてコストを算出、建設年の古い施設・棟からの解体を基本とし、利用実態や建替・大規模改修の費用の集中具合を考慮しながら平準化を図る。

表 構造毎の解体単価

構造	解体単価 (万円/m ²)
RC、SC、SRC、土蔵	2.5
S、LSG、CB	2.0
W	1.6

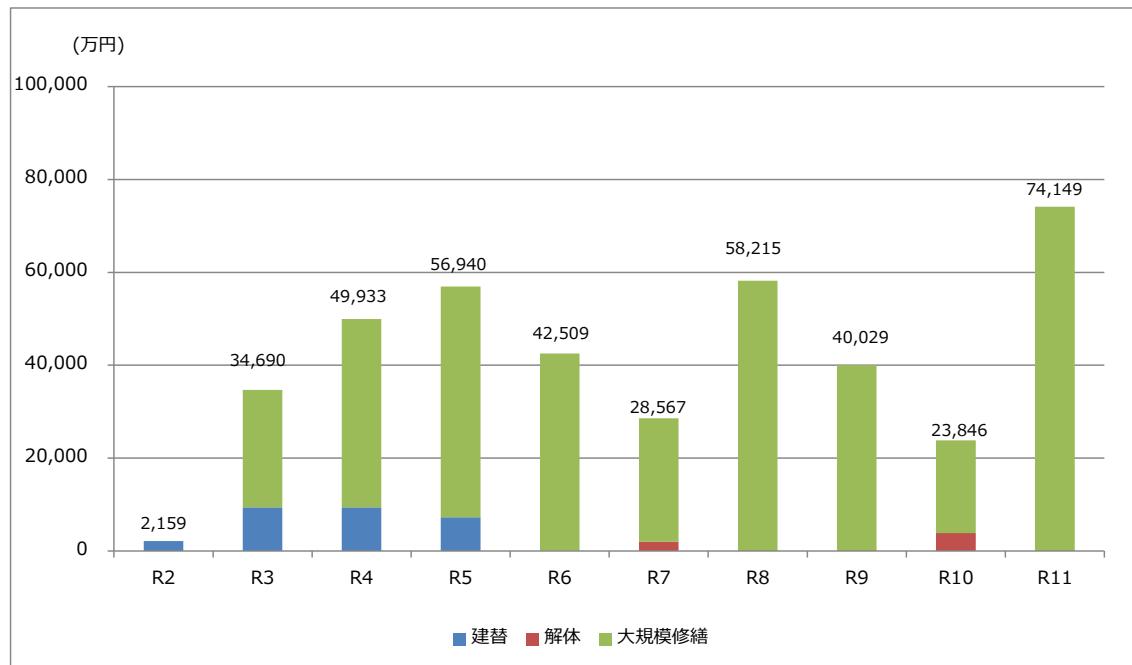
(2) コスト試算結果

コスト試算の結果、計画期間内（令和2～11年）で約41.1億円が掛かり、年平均では約4.1億円のコストが掛かることとなります。

特に令和5年、8年、11年にコストのピークが来ており、修繕時期の調整や修繕の分割化等により、平準化を検討する必要があります。

また、コスト試算結果により、多額の費用が掛かる施設については、耐用年数や将来的な使用期間等を勘案し、修繕規模の縮小等により、コストの縮減を図っていく必要があります。

表 評価結果に基づくコスト試算結果



※公共施設等費用試算ソフトを使用した場合、計画期間以前に未実施の大規模改修費用（積み残し）が、計画期間当初から10年間に渡って計上されるが、上記試算結果には含んでいない。

大規模改修費用（積み残し）：4.7億円/年

表 二十画期間内の施設毎の更新コストその1 (単位:万円)

分類	施設名	資産名	評価	建築年	構造	延床面積	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	合計
村民文化	坂北公民館 (坂北総合福祉センター)	坂北公民館 (坂北総合福祉センター)	用途停止	1973	\$	1,109.23	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	2,218	0
村民文化	ヤングカルチャーセンター	ヤングカルチャーセンター	継続保全	1991	W	65.83	大規模修繕(通常)	0	0	823	823	0	0	0	0	0	1,646
村民文化	作陶場	作陶場	継続保全	1990	W	94.92	大規模修繕(通常)	0	0	807	807	0	0	0	0	0	1,614
村民文化	本城民俗資料館本館	本城民俗資料館本館	用途停止	1977	W	117.59	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	188	0
社会教育	収蔵庫	土蔵	用途停止	1977	土蔵	19.86	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50
社会教育	ブレハブ吸納車1	ブレハブ吸納車1	用途停止	1977	LSG	38.88	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	78	78
社会教育	ブレハブ吸納車2	ブレハブ吸納車2	用途停止	1977	LSG	32.40	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65
社会教育	屋外トイレス	屋外トイレス	用途停止	1977	LSG	1.80	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
社会教育	伝統文化等保存伝承施設	伝統文化等保存伝承施設	利用検討	1994	W	212.00	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,240
社会教育	旧館	旧館	利用検討	1990	W	161.90	建替え(60年経過)	2,159	2,159	0	0	0	0	0	0	0	6,476
社会教育	本館	本館	利用検討	1990	RC	218.46	大規模修繕(通常)	0	0	2,185	0	0	0	0	0	0	4,369
社会教育	健康館	健康館	利用検討	1991	RC	1,822.95	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	22,786	22,786	0	0	0	45,571
社会教育	本城体育館	本城体育館	継続保全	1990	SRC	1,542.60	大規模修繕(通常)	0	0	19,283	19,283	0	0	0	0	0	38,565
社会教育	本部席	本部席	継続保全	1989	RC	120.00	大規模修繕(通常)	0	1,500	0	0	0	0	0	0	0	3,000
スポーツ	トイレス	トイレス	用途停止	2001	W	17.22	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
スポーツ	水室マレットゴルフ場	水室マレットゴルフ場	継続保全	1991	W	617.00	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	7,713	7,713	0	0	0	15,425
スポーツ	本城屋内ゲートボール場	本城屋内ゲートボール場	解体	1993	S	432.00	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	864
スポーツ	坂北莊屋内ゲートボール場	坂北莊屋内ゲートボール場	用途停止	1993	W	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ	坂井冠着庄屋内ゲートボール場	坂井冠着庄屋内ゲートボール場	継続保全	1996	LSG	1,058.80	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,235
スポーツ	やすらぎスポーツ広場	やすらぎスポーツ広場	継続保全	1994	W	72.90	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,458
管理棟	トイレス(管理棟)	トイレス(管理棟)	継続保全	1993	W	150.66	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	1,507	0	0	3,013
管理棟	トイレス(イベント会場)	トイレス(イベント会場)	更新検討	1994	W	38.07	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	761
管理棟	野外ステージ	野外ステージ	更新検討	1993	W	38.07	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理棟	シャワーリ	シャワーリ	継続保全	1997	W	9.93	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ	坂井森林体験交流センター	森林体験交流センター	利用検討	1991	W	185.38	大規模修繕(通常)	0	0	2,317	0	0	0	0	0	0	4,635
スポーツ	交流センター脇トイレス	交流センター脇トイレス	利用検討	1991	W	11.01	大規模修繕(通常)	0	0	14	14	0	0	0	0	0	28
スポーツ	旧管理棟	旧管理棟	継続保全	1993	W	89.43	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	1,118	1,118	0	0
スポーツ	西条温泉どくら	西条温泉どくら	利用検討	1997	RC	2,941.54	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,236
スポーツ	浄化槽機械室	浄化槽機械室	利用検討	1997	OB	15.96	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ	はなれ(旧焼肉ハウス)	はなれ(旧焼肉ハウス)	用途停止	1987	W	53.46	解体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ	パーべキュー冠着	パーべキュー冠着	用途停止	1970	W	91.09	解体	0	0	0	0	0	0	146	0	0	0
産業	冠着莊本館	冠着莊本館	利用検討	1994	SC	2,248.00	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	28,100	28,100	0	56,200
産業	本城ふるさと館	本城ふるさと館	継続保全	1991	S	306.25	大規模修繕(通常)	0	0	3,828	3,828	0	0	0	0	0	7,656
産業	坂北やさいBOX	坂北やさいBOX	継続保全	1998	W	68.73	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	687
産業	まんだらの庄	まんだらの庄	継続保全	1993	W	57.00	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	713	713	0	0	0	1,425
産業	そば凧さかい	そば凧さかい	継続保全	1996	W	168.20	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,103
産業	管理棟	管理棟	継続保全	1998	W	51.84	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	648

表 二十一 期間内に於ける施設毎の更新コストその2 (単位:万円)

分類	施設名	資産名	評価	建築年	構造	延床面積	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	合計
産業	坂井特用林産物加工販売施設	坂井特用林産物加工販売施設2	織物保全	1997	LSG	48.60	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	486	486	972
産業	大沢加工施設	大沢加工施設	用途廃止	1989	W	112.62	解体	0	0	0	0	180	0	0	0	0	180
産業	坂北農産物加工施設	坂北農産物加工施設	織物保全	1990	W	191.57	大規模修繕(通常)	0	1,628	1,628	0	0	0	0	0	0	3,257
産業	貯蔵室	貯蔵室	織物保全	1995	W	41.85	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	356	356	0
産業	しいたけ乾燥室	しいたけ乾燥室	織物保全	1997	LSG	16.56	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141
学校教育	坂井農畜産物処理加工所1	坂井農畜産物処理加工所1	用途廃止	1990	S	230.00	解体	0	0	0	0	460	0	0	0	0	460
学校教育	坂井農畜産物処理加工所2	坂井農畜産物処理加工所2	用途廃止	1993	S	125.52	解体	0	0	0	0	251	0	0	0	0	251
学校教育	餅加工所	餅加工所	織物保全	1993	S	59.28	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	504	0	0	0	0	1,008
学校教育	体育館	体育館	織物保全	1959	S	661.00	建替え	0	7,271	7,271	0	0	0	0	0	0	21,813
学校教育	プール更衣室	プール更衣室	用途廃止	1994	W	38.00	解体	0	0	0	0	61	0	0	0	0	61
子育て	倉庫	倉庫	織物保全	1989	RC	32.40	大規模修繕(通常)	0	324	324	0	0	0	0	0	0	688
子育て	日本城保育園	日本城保育園	織物保全	1993	W	683.12	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	6,831	0	0	0	0	13,662
子育て	日本城子育て支援施設(倉庫)	日本城子育て支援施設(倉庫)	利用検討	1993	LSG	47.88	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	479	479	0	0	0	988
子育て	本城柔剣道場	本城柔剣道場	利用検討	1991	S	472.20	大規模修繕(通常)	0	0	4,722	4,722	0	0	0	0	0	9,444
子育て	筑北村特別支援放課後児童施設	旧坂北図書館	用途廃止	1983	RC	148.00	解体	0	0	0	0	0	0	0	370	0	370
保健福祉	社会福祉会館ささげ荘	ささげ荘	織物保全	1995	S	797.82	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	9,973	0	0	0	19,946
保健福祉	車庫棟	車庫棟	織物保全	1995	S	74.26	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	928	0	0	0	1,887
保健福祉	坂北ティーサービスセンター・地域情報センター	情報センター	織物保全	1997	S	888.95	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,112
保健福祉	坂北ティーサービスセンター	坂北ティーサービスセンター	織物保全	1997	S	378.01	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	370
保健福祉	坂北老人共同住宅	坂北老人共同住宅	用途廃止	1974	W	120.30	解体	0	0	0	0	0	192	0	0	0	192
保健福祉	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	坂井国民健康保険高齢者保健福祉支援センター	織物保全	1994	S	900.45	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	11,256	11,256	0	0	22,511
保健福祉	坂井老人レクリエーション施設	坂井老人レクリエーション施設	利用検討	1990	W	202.00	大規模修繕(通常)	0	2,525	2,525	0	0	0	0	0	0	5,050
医療	国民健康保険診療所	国民健康保険診療所	利用検討	1990	W	350.11	大規模修繕(通常)	0	0	4,376	4,376	0	0	0	0	0	8,753
行政	坂北支所前車庫	坂北支所前車庫	織物保全	1996	S	183.50	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	0	0	1,560	1,560	3,120
行政	書庫棟	書庫棟	用途廃止	1976	W	231.86	解体	0	0	0	0	0	371	0	0	0	371
行政	車庫2号棟	車庫2号棟	更新検討	1992	S	45.61	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	388	388	0	0	775
行政	車庫(木造)	車庫(木造)	用途廃止	1977	W	63.22	解体	0	0	0	0	101	0	0	0	0	101
行政	倉庫(土蔵)	倉庫(土蔵)	用途廃止	1986	土蔵	21.95	解体	0	0	0	0	55	0	0	0	0	55
行政	車庫	車庫	用途廃止	1978	LSG	19.62	解体	0	0	0	0	0	39	0	0	0	39
行政	日本城村役場庁舎倉庫	日本城村役場庁舎倉庫	用途廃止	1961	W	76.03	解体	0	0	0	0	0	122	0	0	0	122
行政	村営バス車庫	村営バス車庫	織物保全	1996	LSG	178.85	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	1,520	1,520	3,040	3,040	
行政	車庫(老レク棟)	車庫(老レク棟)	織物保全	1996	LSG	54.66	大規模修繕(通常)	0	0	0	0	0	683	683	1,367	1,367	
公園	公衆トイレ	公衆トイレ	用途廃止	1995	W	10.89	解体	0	0	0	0	0	0	17	0	0	17
公園	古司農村公園	古司農村公園	用途廃止	1989	RC	3.42	解体	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9
公園	しりつみ公園	しりつみ公園	用途廃止	1989	CB	6.77	解体	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14
その他	坂井支所前公衆トイレ	坂井支所前公衆トイレ	更新検討	1991	CB	9.93	大規模修繕(通常)	0	0	99	99	0	0	0	0	0	199
														合計	2,159	34,690	49,933
															56,940	42,509	28,567
															23,846	40,029	74,149
															410,895		